

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足			
共働支援システム	外部系グループウェアサービス	<b>電子メール(外部系)</b>									
		基本機能									
					外部メール機能	外部環境用に、「電子メール(内部系)」と同等の機能を提供すること。ただし、当該サービスはブラウザからの利用を前提とすること。	オンライン処理	新規要件			
					メールアドレス形式	外部に公開するメールアドレスは乱数等を用いて推測されにくいメールアドレスを用意すること。	オンライン処理	新規要件			
					添付ファイル	セキュアファイル交換サービスを利用して、内部環境から転送されたファイルを外部メールサービスの添付ファイルとして添付できること。	オンライン処理	新規要件			
		運用関連									
					メールアドレス付与	PJMOからの指示に応じ、メールアドレスの付与を行うこと。	オンライン処理	新規要件			
		<b>アドレス帳(外部系)</b>									
		基本機能									
					メールアドレス付与	外部環境用に、「アドレス帳(内部系)」と同等の機能を提供すること。ただし、当該サービスはブラウザからの利用を前提とすること。	オンライン処理	新規要件			
		内部系グループウェアサービス	電子メール(内部系)	<b>メール作成機能</b>							
							メールの作成	職員は内部および外部のユーザ宛のメールを作成できること。	オンライン処理	既存要件	
						メールの書式設定	職員は必要に応じて本文の書式を変更できること。	オンライン処理	既存要件		
						メールへのオブジェクト追加	職員は必要に応じてメールに文字修飾、表、画像、文書等へのリンクを追加できること。	オンライン処理	既存要件		
						クリッカブル	職員は電子メールにおいて、クリッカブルURL、クリッカブルメールアドレスを利用できること。	オンライン処理	既存要件		
						選択肢によるメール回答	職員は電子メールにて選択肢で回答できる質問をすることができること。	オンライン処理	既存要件		
						メールの自動返信	職員は不在時にメールの自動返信を設定できること。内部ユーザ宛の設定と外部ユーザ向けの設定を分けられること。	オンライン処理	既存要件		
						メール宛先の指定	職員は送信時の宛先の種類として、To、Cc、Bccが指定できること。個人アドレス帳、任意に作成したグループ単位の共用アドレス帳の宛先も同時に指定できること。	オンライン処理	既存要件		
						メールへのファイル添付	職員はメールにファイルをドラッグ&ドロップで添付できること。	オンライン処理	既存要件		
						配布リスト	システム管理者はメールアドレスのグループ単位での区分設定が可能であり、グループ単位宛てに送信されたメールは自動的にグループの利用者に送信されること。	オンライン処理	既存要件		
						アドレス検索	職員はNWシステム内のメールアドレスを検索する場合は、氏名による直接検索及び「部局-課室-職員」等の組織階層指定で検索ができること。組織階層がかなり深い場合でも、少数の操作で検索できること。	オンライン処理	既存要件		
						重要度	職員はメールの送信時に重要度が設定できること。	オンライン処理	既存要件		
						引用	職員は引用(履歴)付きの返信ができること。また設定した引用符号を自動的に付与することもできること。	オンライン処理	既存要件		
						同報	職員は一斉同報送信ができること。その際、一斉同報送信を行う場合の宛先グループが登録できること。	オンライン処理	既存要件		
						下書き	職員はメールを作成中に一時保存できること。	オンライン処理	既存要件		
				データ貼り付け	職員はワープロ、表計算のアプリケーションデータを貼り付けこと。ただし、OLE機能に関しては対象外とする。	オンライン処理	既存要件				
				会議の招集	職員は電子メールで会議の招集ができること。	オンライン処理	既存要件				
			拡張スキーマ設定処理	AD上のExchange、Lyncの拡張属性を更新することができること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現				
			メールヘッダ情報	情報セキュリティ上の格付け情報(機密性、完全性、可用性)を自動表示し、利用者がメール送信時に各項目に任意の数値を入力できること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現				

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		メール送信機能						
				メールの送信	作成したメールを内部および外部のユーザに対して送信ができること。	オンライン処理	既存要件	
				予約送信	職員はメール送信時に送信日指定の設定ができること。	オンライン処理	既存要件	
				リンク送信	職員は電子メールにおいて、参考文書へのリンクが作成できること。	オンライン処理	既存要件	
				メール取り消し、差し替え	送信したメールが未開封の場合、送信済みメッセージの取り消し、差し替えができること。	オンライン処理	既存要件	
				開封確認メッセージの自動返信	職員はメール送信する際に、開封確認オプションを使用することで、開封確認メッセージをメール受信者に意識させることなく、自動で返信させることができること。	オンライン処理	既存要件	
				外字のチェック	職員はメール送信時、メール本文に外字が含まれているメールを送信した際にエラーが表示された場合、外字チェックツールを使用し、メール本文に含まれるエラー原因となった外字を特定できること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				メール送信エラー原因の特定	職員が迅速に問題を切り分け、エラーの原因を判断できるかという観点を重視した上で、素早い対応を可能とする運用方法を確立し、充実したFAQデータベースコンテンツを用意することで可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
		メール受信機能						
				メールの受信	内部および外部のユーザからのメールを受信できること。	オンライン処理	既存要件	
				副メールアドレス	システム管理者が副メールアドレスを設定することで、職員は「姓・名」、「名・姓」順での両方のメールアドレスと、旧姓の際に使用していたメールアドレスを使用してメールを受信することができること。	オンライン処理	既存要件	
				自動転送の禁止	職員はセキュリティ対策のため、自分宛てのメールをインターネットまたは、省内の他のネットワークに自動転送できないこと。	オンライン処理	既存要件	
				未読/既読表示	職員は受信メールを一覧形式で表示でき、未読/既読の区別ができること。	オンライン処理	既存要件	
				メール編集	職員は受信メールに対して、メール本文の文書の編集、保存、印刷等の処理ができること。	オンライン処理	既存要件	
				添付ファイル編集	職員は受信メールに添付された文書等に対して、クライアントPC上のアプリケーションソフトウェアを起動し、追記、修正、再利用、保存ができること。保存についてはグループウェア上または、クライアントPC上のハードディスク等に保存されること。	オンライン処理	既存要件	
				新着通知	職員は新着メールの通知を受けることができること。	オンライン処理	既存要件	
				マルチプロトコル	インターネット標準プロトコル/フォーマットであるSMTP、POP3、IMAP4、HTTP、HTTPS、HTML、MIME、S/MIME等に対応できること。	オンライン処理	既存要件	
				表示設定	職員は利用者ごとにメール表示に用いるフォント、サイズ等を任意に変更できること。	オンライン処理	既存要件	
				回答状況の一覧表示	職員はグループウェア内の送信済みのメールに対する回答状況を一覧形式で表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				選択肢によるメール回答表示	選択肢で回答できる質問に対し、電子メールにより受信した回答結果を一覧表示及び外部出力ができること。	オンライン処理	既存要件	
				メールの表示	職員はメール一覧の画面において、日付、送信者、サイズ、件名などの表示/非表示選択、項目の並び替え設定ができること。	オンライン処理	既存要件	
				メールの検索	職員はメールの一覧画面より、任意の検索キーや未読などの条件でメールを検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				メールの使用制限	システム管理者は必要に応じてメールサイズ、メールボックスサイズ、日時、役職毎、部門毎、個人毎、によりメールボックスの使用制限を設定できること。	オンライン処理	既存要件	
				開封確認メッセージの一覧表示	職員は開封確認メッセージを一覧で表示することで、メール受信者がメールを開封したか、開封していないかを確認できること。	オンライン処理	既存要件	
				メールの閲覧、代理人	任意のメールボックスに対して権限を付与された職員はそのメールを閲覧および代行作成できること。	オンライン処理	既存要件	
				メール単位でのアクセス制限	たとえ代理人設定された職員であっても、特別なメールは閲覧できないように設定できること。	オンライン処理	既存要件	
				メールの仕訳ルール	メールの仕訳ルールを設定できること。その際に、内部ユーザ向けと外部ユーザ向けの設定を分けられること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>メール保存機能</b>						
				メールの保管フォルダ	職員はメール文書を保管するフォルダを個人単位で階層管理ができること。	オンライン処理	既存要件	
				メール容量の確認	システム管理者は、個々の利用者のストレージ上のメール容量を随時確認できること。	オンライン処理	既存要件	
				メールボックスの上限	メールボックスのサイズがシステム管理者にて設定された上限値を超えた場合は、受信は行うことができるが、送信ができなくなること。	オンライン処理	既存要件	
				保存領域制限	メールボックスへのメールの保存量をシステム管理者が制限できること。 なお、次期省内LANシステムでは、メールボックス容量の拡大を行うこととしているため、次期省内LANシステムで想定するメールボックス容量について、「別紙● 情報・データ一覧」を参照のこと。	オンライン処理	既存要件	
				メールの自動削除	有効期限を設定することにより、メールを自動削除できること。また、未読メールについては削除を行わない。なお、メールボックスのサイズが上限値を超えた場合でもメールの受信は行うことができる(送信はできない制御を行う)。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				自動削除	退職・休職したユーザが復帰等せず3ヶ月以上経過した際、メールボックスと個人領域(共有フォルダ)のファイル削除を自動で行えること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				証跡ログでの管理	全送受信メールの件名、送信者、宛先、サイズ等の情報を証跡ログとして管理できること。	オンライン処理	既存要件	
				証跡ログ取得済みメールの検索	証跡ログを取得したメールデータは、件名及び本文内容等をキーワードとして、検索が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				証跡ログ取得済みメールの保管	証跡ログを取得したメールデータは、改ざん防止された状態で保管できること。	オンライン処理	既存要件	
				現行NWシステムのメールの閲覧	現行NWシステムのクライアントPCに保存したメールは、データ移行の上、次期NWシステムのクライアントPC(内部環境の仮想デスクトップを前提)でも閲覧できること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>運用関連</b>						
				メールアドレス付与	PJMOからの指示に応じ、メールアドレスの付与を行うこと。		既存要件	
				利用統計情報の取得	送受信データ件数、データ量、利用が多い時間帯、利用者、送信先などの統計情報を取得することができること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
		<b>アドレス帳(内部系)</b>						
		<b>作成・編集機能</b>						
				組織及び個人アドレス帳	職員は組織のアドレス帳と個人アドレス帳を使用できること。	オンライン処理	既存要件	
				グループメンバの展開	職員は宛先にグループアドレスを指定した後に、その構成メンバーの情報を展開でき、複数名を削除した宛先を作成できること。	オンライン処理	既存要件	
				外部アドレス帳の利用	職員は2次アドレス帳サーバを利用できること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ共用アドレス帳	職員は他の複数の職員で共同利用可能な共用のアドレス帳を作成できること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>表示機能</b>						
				役職名の表示	アドレス帳は役職名の表示ができること。	オンライン処理	既存要件	
				所属部局の表示	職員は所属部局を最初に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				階層の展開	職員は部局、課室で階層化されたアドレス帳をクリックすることで展開し、表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				組織階層の表示順序	アドレス帳の組織階層を官制順で表示すること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>予定表</b>						
		<b>作成・編集機能</b>						
				スケジュールの重複作成	職員はスケジュールを重複している時間に作成できること。また重複した時間に予定を作成しようとすると、警告メッセージが表示され、職員の注意を促すことができること。	オンライン処理	既存要件	
				スケジュールの一括登録	職員は繰り返しのスケジュールを一括登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				休日情報の登録、変更	システム管理者が職員のスケジュール情報に、任意の休日情報を登録、変更、削除することができること。	オンライン処理	既存要件	
				会議の依頼	会議の依頼を送信すると、職員のスケジュールに連携、同期できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足				
		表示機能			グループスケジュールの確認	職員は任意のユーザからなるグループを作成し、グループのスケジュールを確認できること。	オンライン処理	既存要件				
					スケジュールのリスト表示	職員はスケジュールを日別、週別、月別でリスト表示できること。	オンライン処理	既存要件				
					スケジュールの公開	職員は任意にスケジュールの詳細を他の利用者に公開ができること。	オンライン処理	既存要件				
					スケジュールの公開、非公開	職員は1つのスケジュール毎に公開、非公開の設定ができること。	オンライン処理	既存要件				
					スケジュールの代理管理	職員はスケジュールを代理人に管理させることができること。	オンライン処理	既存要件				
					他者の会議出欠の確認	職員は予定表において自身の主催する会議の参加者の出欠等のステータスを容易に確認できること。また、他の利用者から送付された会議等への依頼に対し、出席の処置を講じた場合、自分のスケジュールに自動的に反映させることができること。	オンライン処理	既存要件				
		会議室予約(部局用)										
		登録機能					会議の招集	職員は会議の招集時に使用する会議室を指定することができること。	オンライン処理	既存要件		
							会議室、備品の登録	職員は会議室、備品を登録できること。	オンライン処理	既存要件		
							予約可能ユーザの設定	会議室、備品ごとに予約可能なユーザの設定ができること。	オンライン処理	既存要件		
							申請順、承認制の設定	会議室予約管理者を設定することで、会議室、備品予約に申請順、承認制の設定ができること。	オンライン処理	既存要件		
							会議室予約の一括登録	職員は繰り返し予約の一括登録ができること。	オンライン処理	既存要件		
		検索機能					会議室の空き時間検索	職員は指定した会議室の空き時間を検索できること。	オンライン処理	既存要件		
							利用可能会議室の確認	職員は利用可能な会議室を一覧で表示することができること。	オンライン処理	既存要件		
		表示機能					会議出欠席者の一覧表示	職員は予約した会議室で開催される会議の欠席者の一覧を表示できること。	オンライン処理	既存要件		
		運用関連					会議室情報管理	PJMOからの指示に応じ、会議室情報の登録・削除・変更作業を行うこと。		既存要件		
		タスク管理					タスクの登録	職員はタスクを登録できること。	オンライン処理	既存要件		
							タスクの編集・削除	職員はタスクを編集、削除できること。	オンライン処理	既存要件		
							タスクの依頼	職員は作成したタスクを他のユーザのタスクとすることを依頼できること。	オンライン処理	既存要件		
							進捗率の入力	職員はタスクに進捗率を入力し、タスク管理できること。	オンライン処理	既存要件		
		職員ポータルサービス	トップページ									
			共働支援トップページ									
								トップページ	共働支援システムの入り口となるWebサイト。各種コンテンツへのリンクを統合表示すること。	オンライン処理	既存要件	
								ポートレット	共働支援システムトップページに配置するコンテンツ。職員は、ポートレットに集約された各種リンクにより、所望のコンテンツに容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	既存要件	
								総合相談窓口 (FAQ)	共働支援システムトップページに配置するコンテンツ。職員は、ヘルプデスクが提供する「総合相談窓口 (FAQ)」に容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	既存要件	
								サイトマップ	共働支援システムトップページからアクセス可能なコンテンツのリンク一覧。職員は、全てのコンテンツを俯瞰することができることも、所望のコンテンツにダイレクトにアクセスすることができること。	オンライン処理	既存要件	
								画面レイアウトの個人設定	職員は、共働支援システムトップページに配置するポートレットに対し、ポートレット表示状態(最小化/最大化)の変更、ポートレット表示状態(最小化/最大化)の保存、ポートレット表示位置の変更の操作を行うことができること。	オンライン処理	既存要件	
								リンク集	職員は、ポータル機能を利用して個人のリンク集を保持・編集できること	オンライン処理	既存要件	
								共働支援トップページの管理	運用者は、リンク集(共用)ポートレットのタイトル及びリンクを追加・変更・削除することができること。	オンライン処理	既存要件	
			部局・課室サイト									



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				部局・課室サイトトップページ	組織ごと(部局ごと、課室ごと)に情報を共有するためのWebサイト。運用者は、組織ごとにサイトを割り当てることができること。	オンライン処理	既存要件	
				リンク集	職員は、部局課室専用リンク集を利用し、閲覧可能なコンテンツにアクセスすることができること。システム管理者は、部局課室専用リンク集を作成することができる。また、コンテンツ追加等のカスタマイズを行なうことができること。	オンライン処理	既存要件	
				ナビゲーションバー	職員は、各種コンテンツへのリンクをまとめたナビゲーションバーから、所望のコンテンツに容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				部局・課室サイトの管理	システム管理者は、部局・課室サイトの管理を行うことができること。	オンライン処理	既存要件	
		都道府県労働局サイト						
				都道府県労働局サイトトップページ	組織ごと(都道府県労働局ごと)に情報を共有するためのWebサイト。運用者は、組織ごとにサイトを割り当てることができること。	オンライン処理	既存要件	
				サブサイト表示	職員は、サブサイト掲示板リンク集とサブサイトファイル共有リンク集を利用し、閲覧可能な各サブサイトの掲示板とファイル共有にアクセスすることができること。システム管理者は、コンテンツ追加等のカスタマイズを行なうことができること。	オンライン処理	既存要件	
				ナビゲーションバー	職員は、各種コンテンツへのリンクをまとめたナビゲーションバーから、所望のコンテンツに容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				都道府県労働局サイトの管理	システム管理者は都道府県労働局サイトの管理を行うことができること。	オンライン処理	既存要件	
		ハローワークサイト						
				ハローワークサイトトップページ	組織ごとに情報を共有するためのWebサイト。運用者は、組織ごとにサイトを割り当てることができること。	オンライン処理	新規要件	
				サブサイト表示	職員は、サブサイト掲示板リンク集とサブサイトファイル共有リンク集を利用し、閲覧可能な各サブサイトの掲示板とファイル共有にアクセスすることができること。システム管理者は、コンテンツ追加等のカスタマイズを行なうことができること。	オンライン処理	新規要件	
				ナビゲーションバー	職員は、各種コンテンツへのリンクをまとめたナビゲーションバーから、所望のコンテンツに容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	新規要件	
				ハローワークサイトの管理	システム管理者はハローワークサイトの管理を行うことができること。	オンライン処理	新規要件	
		施設等機関サイト						
				施設等機関サイトトップページ	組織ごと(ハンセン病療養所、リハビリテーションセンター、児童自立支援施設等)に情報を共有するためのWebサイト。運用者は、組織ごとにサイトを割り当てることができること。	オンライン処理	新規要件	
				サブサイト表示	職員は、サブサイト掲示板リンク集とサブサイトファイル共有リンク集を利用し、閲覧可能な各サブサイトの掲示板とファイル共有にアクセスすることができること。システム管理者は、コンテンツ追加等のカスタマイズを行なうことができること。	オンライン処理	新規要件	
				ナビゲーションバー	職員は、各種コンテンツへのリンクをまとめたナビゲーションバーから、所望のコンテンツに容易にアクセスすることができること。	オンライン処理	新規要件	
				施設等機関サイトの管理	システム管理者は施設等機関サイトの管理を行うことができること。	オンライン処理	新規要件	
		コンテンツ領域						
				情報共有	組織を横断して情報(業務マニュアルや配置図等)を共有する領域を用意すること。	オンライン処理	既存要件	
				コンテンツ領域の割り当て	運用者は、利用目的に応じた領域を割り当てることができること。	オンライン処理	既存要件	
				コンテンツ領域トップページ	職員は、職員ポータルサイトで文書の共有等を行うことができること。	オンライン処理	既存要件	
				コンテンツ領域の管理	システム管理者は、割り当てられたコンテンツ領域の管理を行うことができること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	職員は、検索キーワードを指定し、文書を検索することができる。検索範囲は職員ポータル、電子掲示板、ファイル共有(作業中文書領域)、ファイル共有(確定文書領域)とする。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		お知らせ機能						
				お知らせ領域の管理	・システム管理者は、お知らせを表示する領域を作成、変更、削除できること。 ・お知らせ領域にはカテゴリに応じた名称の設定ができること。 ※お知らせ領域は8領域程度を想定している	オンライン処理	新規要件	
				お知らせの管理	・利用者は、特定のお知らせ領域を選択し、選択したお知らせ領域に表示するお知らせを作成、変更、削除できること。 ・お知らせにはタイトルが設定できること。 ・お知らせにはファイルを添付できること。	オンライン処理	新規要件	
				権限設定	・システム管理者は、お知らせ領域ごとに、お知らせを管理できる利用者を設定、変更、削除できること。	オンライン処理	新規要件	
				お知らせ領域の職員ポータルでの表示	・お知らせ領域は職員ポータル各サイトのパーツとして表示できること。 ・職員ポータルのパーツとして表示されるお知らせ領域には、お知らせの登録日及び更新日を基準に降順、昇順を設定したうえで、お知らせ領域の表示サイズに応じて、お知らせが一覧表示されること。 ・お知らせ領域に表示されたお知らせの一覧表示から、お知らせの詳細表示へ遷移できること。	オンライン処理	新規要件	
				お知らせ一覧の表示	・登録されたお知らせの一覧を表示できること。 ・一覧表示はお知らせの主な項目でソートできること。 ・お知らせの主な項目で検索が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				メール配信	・お知らせの作成と同時に、指定したメールアドレスにお知らせの内容がメール送信できること。または、メール機能と連動し、お知らせの内容をあらかじめ記載したメール作成画面が起動できること。	オンライン処理	新規要件	
		運用関連						
				バックアップデータ取得	部局・課室サイト」の削除を行う際には、事前にバックアップデータを取得すること。	オンライン処理	既存要件	
				利用者満足度	画面レイアウト等、利用者にとってわかりやすく工夫すること。また満足度調査等で利用者より確認し、不満が多い場合は、PJMOと協議の上、対応を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
		掲示板						
				電子掲示板の割り当て	情報発信の仕組みとして、省内掲示板、部局掲示板、課室掲示板、都道府県労働局掲示板の4種類の電子掲示板を用意すること。	オンライン処理	既存要件	
				掲示物の登録	職員は、アクセス可能な電子掲示板にて掲示物を登録できること。また、当該掲示文書の公開／非公開を設定できること。掲示物の取扱いに関する注意喚起が目的であり、電子掲示板への掲示物の公開／非公開を制御するものではない。省内掲示板に掲示物を登録するときは、3つの種別(国会情報/システム運用情報/その他)のいずれか一つの種別を設定すること。	オンライン処理	既存要件	
				掲示物の閲覧	職員は、自身がアクセス可能な電子掲示板の掲示物を一覧形式で確認することができること。また、掲示物の内容を確認することができること。	オンライン処理	既存要件	
				掲示物の編集・削除	職員は、自身が登録した掲示物を編集、削除することができること。	オンライン処理	既存要件	
				掲示物の自動削除	電子掲示板に登録されている掲示物を、指定の条件に従って、自動的に削除することができること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>ファイル共有(確定文書領域)</b>						
		<b>確定文書領域</b>						
				確定文書領域の割り当て	文書の保存領域として、省内領域、部局領域、課室領域、都道府県労働局領域の4種類の領域を用意すること。加えて、統合元である施設等機関(ハンセン病療養所、リハビリテーションセンター、児童自立支援施設等)ごとの領域も作成する想定である。	オンライン処理	既存要件	
				確定文書領域の残容量確認	職員は、自身が所属する部局、課室及び都道府県労働局の確定文書領域の利用状況(残容量)を確認することができること。	オンライン処理	既存要件	
				確定文書領域の階層化	職員は、自身が利用可能な確定文書領域に、任意の領域(フォルダ)を作成することができること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の登録	職員は、自身が利用可能な確定文書領域に文書を登録することができること。その際には、ドラッグ&ドロップによる登録を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の確定	職員は、自身が利用可能な確定文書領域に登録されている文書に対し、指定の属性情報(保存期間等)を付与した上で、確定することができること。ただし、省内領域に登録されている文書については、当該部局の職員と運用者以外は確定することはできないこと。確定した文書は、読み取り専用の状態とし、編集不可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の確定解除	システム管理者は、職員が確定した文書を未確定の状態に戻すことができること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の確認	職員は、自身が利用可能な確定文書領域に保存されている文書を、一覧形式で確認することができること。また、確定済みの文書と未確定の文書を識別することができること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の編集	職員は、文書をクリックすることにより、対応するアプリケーションを利用して文書を開くことができること。アプリケーションを利用して開いた文書が未確定状態の文書の場合、Officeアプリケーション利用時に限り、文書の編集・上書き保存をすることができること。ただし、省内領域に登録されている文書については、当該部局の職員と運用者以外は編集・上書き保存をすることはできないこと。	オンライン処理	既存要件	
				文書のダウンロード・アップロード	職員は、利用可能な確定文書領域に文書を一括登録(アップロード)・一括保存(ダウンロード)ができること。	オンライン処理	既存要件	
				文書の削除	職員は、自身が利用可能な確定文書領域に保存されている未確定状態の文書を削除することができること。ただし、省内領域に登録されている文書については、当該部局の職員と運用者以外は削除できないこと。	オンライン処理	既存要件	
				文書の自動削除	指定の条件に従って、メール通知を行ったうえで、確定文書領域に保存されている確定済み文書を、自動的に削除することができること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>運用関連</b>						
				文書管理担当者の設置	受注者は、文書管理担当者を配置し、利用者が作成・共有する文書について、以下の項目を中心とした情報共有の高度化に向けた取り組みを、契約期間中に渡り、継続的に実施すること。 ・各文書領域の利用目的、利用方法、及び制限事項等について、明確な運用手順及び運用ルールを定義し、ドキュメントを作成・配布の上、利用者に対する教育・研修を徹底すること。 ・各文書領域での文書共有状況を継続的にモニタリングし、確定文書領域の活用度、利用者の理解度、ルールの徹底度等を評価すること。 ・モニタリング結果をもとに改善策を検討し、運用ルールの変更、利用者の意識向上のための周知活動等、継続的に施策を実施すること。 ・各文書領域の一定の階層のフォルダについて、利用者からの申請に基づき新規フォルダを作成する業務を実施すること。 ・各文書領域の利用目的・制限事項について、明確な運用手順及び運用ルールを定義し、利用者に対する教育・研修を徹底すること。	オンライン処理	既存要件	
				論理削除	論理削除されたデータは、1年経過後、バックアップデータとしてテープ等の媒体に移したのち、当該サービスのディスクより物理的に削除すること。	オンライン処理	既存要件	
				削除前のバックアップ	部局・課室用確定文書領域を削除する場合は、事前に領域のバックアップをした上で、削除処理を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				設定変更	利用者から依頼があった場合、PJMOと調整の上、確定文書領域のフォルダ構成、各種設定変更等を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				新規フォルダ作成	文書領域の一定の階層のフォルダについて、利用者からの申請に基づき新規フォルダを作成する業務を実施すること。	オンライン処理	既存要件	
				データの復元	管理者の指示を受け、アーカイブ領域またはテープ等の外部媒体からデータの復元を実施すること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>アンケート</b>						
				アンケートの作成	職員は、テンプレートを利用することで、容易にアンケートを作成することができること。その際、アンケート対象者を指定することができること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケートの回答	職員は、アンケートに回答することができること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート回答の集計	職員(アンケートの作成者)は、アンケートの回答を集計することができること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート集計結果の出力	職員(アンケートの作成者)は、アンケートの集計結果をEXCELファイルとして出力することができること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>職員録: 現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること</b>						
		<b>検索機能</b>						
				職員検索機能	職員録から職員名(漢字、ふりがな、メールアドレスのローマ字表記)、ユーザID、所属、役職などをキーワードにして、職員情報の検索ができること。	オンライン処理	既存要件	
				メーリングリスト検索機能	メーリングリストについて、システム名、メーリングリスト名が検索できること。検索は、一部一致検索とし、入力値は一まとまりと認識すること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>表示機能</b>						
				職員一覧表示機能	検索条件に該当する職員情報を検索結果として一覧表示すること。検索結果は2,000件を上限として、1画面に全件の職員情報を表示すること。(ページング機能なし)	オンライン処理	既存要件	
				職員詳細表示機能	職員一覧で選択した職員の詳細情報を表示すること。	オンライン処理	既存要件	
				メーリングリスト一覧表示機能	検索条件に該当するメーリングリストを検索結果として一覧表示すること。検索結果は2,000件を上限として、1画面に全件のメーリングリストを表示すること。(ページング機能なし)	オンライン処理	既存要件	
				更新日時表示機能	初期表示画面において、各システム毎の最新の更新日時を表示すること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>取込・生成機能</b>						
				職員情報取込機能	二次アドレス帳に登録された情報を元に、職員録で使用するための職員・組織情報テーブルをバッチ処理で作成すること。職員、組織情報の追加、更新、削除を行うこと。	バッチ処理	既存要件	
				配布グループ取込機能	アクセス権管理サービスサーバ上の配布グループを元に、職員録で使用するためのメーリングリストテーブルをバッチ処理で作成すること。メーリングリストの全削除、全追加を行うこと。	バッチ処理	既存要件	
				適用徴収CSV生成機能	統合ディレクトリサーバ上のユーザ情報連携用CSVを元に、組織により適用徴収ユーザを抽出し、2次アドレスサーバ上に適用徴収システムのユーザ情報登録用CSVを生成すること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>共用会議室予約: 現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること</b>						
		<b>登録機能</b>						
				会議室管理としての予約	「部局・課室名」を「大臣官房会計課会議室管理」という特殊組織で予約可能なこと。	オンライン処理	既存要件	
				予約申込/解約	会議室利用の仮予約/解約を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				追加予約/解約	会議室利用の追加予約/解約が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				繰り返し予約	予約申込/追加予約時に、複数の日にち、複数の会議室に対して一括して予約登録が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				予約調整	仮予約に対して定期的に調整処理が行えること。メール機能と連携し調整結果を利用責任者宛にメール通知できること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>検索機能</b>						
				会議室空き状況確認	会議室ごとの空き状況を「日別」「週別」「月別」の3種類の表形式で表示できること。	オンライン処理	既存要件	
		<b>表示機能</b>						
				お知らせ文書	システム起動時に「お知らせ文書」が表示されること。	オンライン処理	既存要件	
				予約状況表示	会議室ごとの予約状況を「日別」「週別」「月別」の3種類の表形式で表示されること。	オンライン処理	既存要件	
				使用予定表示	会議室の使用予定「全予約」「陳情のみ」「追加予約のみ」の3種類の一覧形式で表示すること。	オンライン処理	既存要件	
				調整結果表示	仮予約の調整結果を表示/追加予約の状況を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				帳票表示	「予約状況一覧」や「調整結果一覧」などの帳票をMicrosoft Excelファイルとして表示すること。	オンライン処理	既存要件	



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		管理機能						
				予約履歴管理	すべての予約情報を過去1年分保持し、自由に参照を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				手動月次更新	通常、月替わりの1日に自動的に実行される月次更新処理を手動で行えること。	オンライン処理	既存要件	
				申請/承認書印刷	1つ以上の予約文書を選択し、Microsoft Excelファイルとして申請/承認書が印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				会議室情報メンテナンス	予約対象となる会議室情報のメンテナンスを行えること。運用開始後の会議室情報の変更を系統的に処理できること。	オンライン処理	既存要件	
				お知らせ文書のメンテナンス	お知らせ文書の内容を更新できること	オンライン処理	既存要件	
				帳票ファイルのメンテナンス	本システムで利用する各種帳票のExcelファイルのメンテナンスを行えること。	オンライン処理	既存要件	
				休日マスタのメンテナンス	休日を判断するためのマスタデータを管理できること。	オンライン処理	既存要件	
				統計情報管理	統計情報を表示できること。Excelファイルとしての統計表を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
		運用関連						
				運用バッチ処理	会議室予約サービスの運用期間中、バッチ処理を用いて以下の処理を行うこと。 a.1年前の履歴情報を削除する処理(月次) b.統計情報集計処理(月次) c.スケジュール文書更新処理(月次) d.過去の予約文書を履歴データベースへ移動する処理(日次) e.会議室適用情報処理(日次)	バッチ処理	既存要件	
申請届出サービス:現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること								
		申請・届出管理						
				各種申請届出	以下に示す手続の申請・届出を管理できること。 ・ソフトウェア借用申請 ・ハードウェア借用申請 ・クライアントPCの増設・返納申請等の手続に係る申請	オンライン処理	既存要件	閲覧資料「研修マニュアル」の中の【共働支援システム】利用ガイド(A)を参照(「11 各種システム 2 各種申請届出」)
オンライン研修(自習室)								
		利用者(職員側機能)						
				受講機能	職員(利用者)が研修コースを受講できること。	オンライン処理	既存要件	
				ヘルプ機能	本システムの職員側機能の操作方法の説明やヘルプを参照できること。	オンライン処理	既存要件	
				職員ポータルからのログイン機能	職員ポータルのメニュー画面からログインを実現すること。シングルサインオン対象のシステムとして、ログイン時に、認証・アクセス管理基盤におけるシングルサインオンシステムのID・パスワードを入力させることにより、職員ポータルのメニューから本システムを起動し、ログインが行えること。なお、他のシングルサインオンシステムに既にログインしている場合は、本システムへのログイン時のID・パスワード入力を省略できること。	オンライン処理	既存要件	
				所属部局別コース教材配信機能	利用者の所属する部局に応じて、特定の研修コース教材を配信できること。	オンライン処理	既存要件	
				特定職員対象コース教材配信機能	利用者の所属する部局に関わらず、特定の利用者に対して、特定の研修コース教材を配信できること。	オンライン処理	既存要件	
				利用者向け受講対象コース確認機能	利用者が自身が受講すべき研修コースが一覧で確認できること。	オンライン処理	新規要件	
				利用者向け受講状況閲覧機能	利用者が研修コースごとの自己の受講状況(研修履歴・進捗状況)を確認できること。	オンライン処理	既存要件	
				ビデオ教材受講機能	ストリーミングサーバと連動したビデオ教材を受講できること。	オンライン処理	既存要件	
				電子マニュアル・ビデオライブラリ閲覧機能	電子マニュアル、及び、ビデオライブラリを選択し閲覧できること。	オンライン処理	既存要件	
				質問解決支援機能	研修コース内容に関する質問について、ヘルプデスクへの問合せに対応すること。	オンライン処理	既存要件	
				お知らせ閲覧機能	システム管理者が掲示板を使って掲載したお知らせ等を、職員が閲覧できること。	オンライン処理	既存要件	
				研修コース教材検索機能	キーワードを入力することにより、キーワードに該当する研修コースを検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷機能	研修コース教材の内容を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				付箋機能	学習を中断したページにブックマークを残し、中断ページから学習の再開を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート回答機能	特定の職員に対してアンケートを実施できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		上長側機能						
				管理者向け受講状況閲覧機能	上長が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)について確認できること。未受講者にフォローメールを送ることができること。	オンライン処理	既存要件	
				受講履歴ダウンロード機能	上長が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)をCSVファイルで出力できること。データは退職者を除く等、実際の数値を把握できること。	オンライン処理	既存要件	
				受講履歴アップロード機能	上長が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)をCSVファイルでアップロードできること。	オンライン処理	既存要件	
				受講結果管理機能	上長が、各利用者の研修コースの受講状況(未修了→修了)を編集できること。	オンライン処理	既存要件	
		システム管理者側機能						
				システム管理者向け受講状況閲覧機能	システム管理者が、研修コース毎の各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)について確認できること。未受講者にフォローメールを送ることができること。	オンライン処理	既存要件	
				教材作成機能	システム管理者が教材を作成し、研修コースとして公開できること。その際、オーサリングツールによりシステム管理者自身が教材を作成し、公開可能とすること。なお、SCORM形式のコンテンツ教材は別途ご提供するツールにてメンテナンスを行うこと。研修コース分類の登録を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート集計機能	システム管理者が受講者からのアンケート結果を集計できること。アンケートはテンプレートとして雛型が用意されているとともに、テンプレートを加工しての利用、あるいはテンプレートによらないアンケート作成が可能なこと。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート集計機能(部局単位)	システム管理者が受講者からのアンケート結果を部局単位で集計できること。アンケートはテンプレートとして雛型が用意されているとともに、テンプレートを加工しての利用、あるいはテンプレートによらないアンケート作成が可能なこと。	オンライン処理	新規要件	
				人事データ連携機能	人事異動情報システムのデータと自動連携し、人手による当システム上での人事情報のメンテナンスを不要とすること。	オンライン処理	既存要件	
				受講状況集計機能	システム管理者が、研修コースごとの受講状況を集計し、集計結果をCSVファイルで出力すること。	オンライン処理	既存要件	
				受講状況集計機能(部局単位)	システム管理者が、研修コースごとの受講状況を部局単位で集計し、集計結果をCSVファイルで出力すること。	オンライン処理	新規要件	
				お知らせ編集機能	システム管理者が掲示板にお知らせを掲示/削除できること。当機能については、他の利用者からの掲示を不可とすること。	オンライン処理	既存要件	
				電子マニュアル・ビデオライブラリ管理機能	システム管理者が、電子マニュアルおよびビデオ教材を登録し、利用者に公開できること。	オンライン処理	既存要件	
				アンケート作成機能	システム管理者がアンケートを作成し利用者に公開できること。	オンライン処理	既存要件	
				受講履歴ダウンロード機能	システム管理者が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)をCSVファイルで出力できること。データは退職者を除く等、実際の数値を把握できること。	オンライン処理	既存要件	
				受講結果管理機能	システム管理者が、各利用者の研修コースの受講状況(未修了→修了)を編集できること。	オンライン処理	既存要件	
				マスタ管理	ユーザマスタの管理を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				キャリア管理	分類マスタの管理、研修情報の管理、アンケート管理、コンテンツ管理を行えること。	オンライン処理	既存要件	
		特定コース管理者側機能						
				アンケート集計機能	特定コース管理者が受講者からのアンケート結果を集計できること。	オンライン処理	既存要件	
				特定コース利用者別受講状況閲覧機能	特定コース管理者が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)について確認できること。未受講者にフォローメールを送ることができること。	オンライン処理	既存要件	
				特定コース利用者別受講履歴ダウンロード機能	特定コース管理者が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)をCSVファイルで出力できること。データは退職者を除く等、実際の数値を把握できること。	オンライン処理	既存要件	
				特定コース利用者別受講履歴アップロード機能	特定コース管理者が、研修コースごとの各利用者の受講状況(受講履歴・進捗状況)をCSVファイルでアップロードできること。	オンライン処理	既存要件	
				特定コース受講結果管理機能	特定コース管理者が、特定コースの受講状況(受講履歴・進捗状況)を編集できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
法令検索サービス・通知検索サービス:現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること								
法令								
検索機能								
				体系検索	法令の体系項目を指定し、当該体系に含まれる法令を検索できること。選択する体系項目は上位階層から展開して表示することができること。ただし、廃止法令参照時は本機能を使用することはできないこと。	オンライン処理	既存要件	
				年月日検索	法令の制定/改正情報を対象に年月日、種別、番号を指定して法令を検索できること。期間を指定した検索及びFromのみ、Toのみといった検索ができること。	オンライン処理	既存要件	
				用語検索	法令の件名または本文中に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して法令を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報検索	法令に付加したユーザ情報に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して法令を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				新着法令・新着通知検索	データ更新機能により作成したHTMLファイルを目次より表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索補助機能	語検索及びユーザ情報検索については、以下の機能を有すること。 ・シソーラス辞書を使用した同義語・類義語検索。 ・英字の大小を同一視した検索。 上記に加え、用語検索については以下の機能を有すること。 ・3種類(100%、80%、65%)の曖昧度を指定した曖昧検索。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
表示機能								
				検索状態の解除	検索によって絞り込んだ結果の解除については、以下の機能を有すること。 ・検索結果を全て解除し、初期状態に戻す。 ・検索結果をひとつ前の状態に戻す。	オンライン処理	既存要件	
				現行法令一覧表示	現行法令の一覧として、法令件数、体系名称、件名、制定年月日・種別・番号を表示できること。なお、全文検索実行後はヒットした法令ごとに、検索キーワードごとのヒット件数を表示することができること。また、法令の一覧と同時に改正情報、ユーザ情報を表示することが可能であること。一度に表示する件数は100件までとするが、検索によって絞り込まれた法令件数が1000件以下の場合は、全ての法令を1度に表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				廃止法令一覧表示	データ更新によって本システムに搭載された法令が廃止された場合は廃止法令の一覧を表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				体系情報表示	法令の体系名称を法令一覧と同時に表示する。体系名称を選択することにより、当該項目に含まれる法令のみを一覧表示することができること。また、体系は上位項目から展開して表示することができること。ただし、廃止法令参照時は本機能を使用することはできないこと。	オンライン処理	既存要件	
				体系情報表示	法令の一覧から任意の法令件名を選択することにより、当該法令の本文を表示することができること。なお、全文検索実行後は検索キーワード毎に色別で強調表示し、ヒット箇所へジャンプすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				書誌情報表示	選択された法令の件名、体系情報、制定/改正情報を本文と同時に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				条項目次表示	選択された条項目の目次を本文と同時に表示できること。条項目を選択することにより、本文の当該箇所へジャンプすることができること。また、条項目目次は上位項目から展開して表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				イメージ表示	イメージ表示は法令本文中に表示できること。また、イメージを別画面にて拡大/縮小表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				検索条件表示	検索によって法令を絞り込んだ場合、それまでに実行した検索条件の一覧を表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				更新履歴表示	データ更新を行なった履歴を、更新した順番で表示できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				管理機能				
				リンク機能	法令本文中において他の法令を引用している場合は、引用箇所アンカーを設定し、別ブラウザで当該法令の先頭にジャンプすることができる。別表／様式が存在する場合は、別表／様式タイトルからWordファイルを表示することができる。	オンライン処理	既存要件	
				ファイル出力	法令本文の全体または選択した構成要素を、RTF形式ダウンロードすることができる。	オンライン処理	既存要件	
				新旧対照表出力	法令本文の全体または選択した構成要素を、RTF形式で新旧対照表に出力することができる。また、出力する際の書式(用紙サイズ、タイトル、1行文字数等)を設定することができる。	オンライン処理	既存要件	
				書式設定	法令本文の文字サイズ／行間／字間を任意に変更することができる。なお、設定した書式は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報	法令毎にユーザ独自の情報を付加することができる。また、登録したユーザ情報は検索、一覧画面及び本文画面での表示が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				シソーラス設定	検索時に利用するシソーラス辞書は、関連語ごとに有効／無効を設定することができる。なお、シソーラスの有効／無効設定は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				ユーザ辞書	検索時に使用するシソーラス辞書に対して、ユーザ独自に辞書用語の追加／更新を行なうことができる。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				履歴管理	データ更新によって掲載されている法令が変更(制定、改正、未施行の施行、廃止)された場合、更新前の状態を履歴として管理し、検索／閲覧の対象を任意の内容(現在等)に切替えることができる。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ管理	本システムに登録／更新を行なうことができる利用者IDを登録できること(本システムは厚生労働省全職員が利用できるが、登録／更新についてはIDを登録したユーザのみ可能とすること。)	オンライン処理	既存要件	
				オンラインヘルプ	オンラインヘルプを任意の時点で参照することができる。	オンライン処理	既存要件	
				通知				
				検索機能				
				体系検索	通知の体系項目を指定し、当該体系に含まれる通知を検索できること。選択する体系項目は上位階層から展開して表示すること。但し、廃止通知参照時は本機能を使用することはできないこと。	オンライン処理	既存要件	
				省庁別検索	通知を発令した省庁、部局、発翰者を指定して通知を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				年月日検索	通知の制定／改正情報を対象に年月日、種別、番号を指定して通知を検索できること。期間を指定した検索及びFromのみ、Toのみといった検索ができること。	オンライン処理	既存要件	
				用語検索	通知の件名または本文中に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して通知を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報検索	通知に付加したユーザ情報に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して通知を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索補助機能	用語検索及びユーザ情報検索については、以下の機能を有すること。 ・シソーラス辞書を使用した同義語・類義語検索。 ・英字の大小を同一視した検索。 上記に加え、用語検索については以下の機能を有すること。 ・3種類(100%、80%、65%)の曖昧度を指定した曖昧検索。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				検索状態の解除	検索によって絞り込んだ結果の解除については、以下の機能を有すること。 ・検索結果を全て解除し、初期状態に戻す。 ・検索結果をひとつ前の状態に戻す。	オンライン処理	既存要件	



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				表示機能				
				現行通知一覧表示	現行通知の一覧として、通知件数、体系名称、件名、制定年月日・種別・番号を表示できること。なお、全文検索実行後はヒットした通知ごとに、検索キーワードごとのヒット件数を表示することができること。また、通知の一覧と同時に改正情報、ユーザ情報を表示することが可能とすること。一度に表示する件数は100件までとするが、検索によって絞り込まれた通知件数が1000件以下の場合は、全ての通知を1度に表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				廃止通知一覧表示	データ更新によって本システムに搭載された通知が廃止された場合は廃止通知の一覧を表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				体系情報表示	通知の体系名称を通知一覧と同時に表示する。体系名称を選択することにより、当該項目に含まれる通知のみを一覧表示することができること。また、体系は上位項目から展開して表示することができること。但し、廃止通知参照時は本機能を使用することはできないこと。	オンライン処理	既存要件	
				通知本文表示	通知の一覧から任意の通知件名を選択することにより、当該通知の本文を表示することができること。なお、全文検索実行後は検索キーワード毎に色別で強調表示し、ヒット箇所にはジャンプすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				書誌情報表示	選択された通知の件名、体系情報、制定／改正情報を本文と同時に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				イメージ表示	イメージ表示は通知本文中に表示できること。また、イメージを別画面にて拡大／縮小表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				検索条件表示	検索によって通知を絞り込んだ場合、それまでに実行した検索条件の一覧を表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				更新履歴表示	データ更新を行なった履歴を、更新した順番で表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				管理機能				
				ファイル出力	通知本文の全体または選択した構成要素を、RTF形式ダウンロードすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				書式設定	通知本文の文字サイズ／行間／字間を任意に変更することができること。なお、設定した書式は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報	通知毎にユーザ独自の情報を付加することができること。また、登録したユーザ情報は検索、一覧画面及び本文画面での表示が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				シソーラス設定	検索時に利用するシソーラス辞書は、関連語ごとに有効／無効を設定することができること。なお、シソーラスの有効／無効設定は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				ユーザ辞書	検索時に使用するシソーラス辞書に対して、ユーザ独自に辞書用語の追加／更新を行なうことができること。	オンライン処理	既存要件	現行省内LANはカスタマイズにより実現
				履歴管理	データ更新によって登録されている通知が変更(制定、改正、未施行の施行、廃止)された場合、更新前の状態を履歴として管理し、検索／閲覧の対象を任意の内容(現在等)に切替えることができること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ管理	本システムに登録／更新を行なうことができる利用者IDを登録できること(本システムは厚生労働省全職員が利用できるが、登録／更新についてはIDを登録したユーザのみ可能とすること。)	オンライン処理	既存要件	
				オンラインヘルプ	オンラインヘルプを任意の時点で参照することができること。	オンライン処理	既存要件	
				覚書				
				検索機能				
				体系検索	覚書の体系項目を指定し、当該体系に含まれる覚書を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				年月日検索	覚書の取交年月日情報を対象に、取交年月日、種別、番号を指定して覚書を検索できること。期間を指定した検索及びFromのみ、Toのみといった検索が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				用語検索	覚書の件名または本文中に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して覚書を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報検索	覚書に付加したユーザ情報に含まれる文字列を対象に、検索キーワードを指定して覚書を検索できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索補助機能	用語検索及びユーザ情報検索については、以下の機能を有すること。 ・シソーラス辞書を使用した同義語・類義語検索。 ・英字の大小を同一視した検索。 上記に加え、用語検索については以下の機能を有すること。 ・3種類(100%、80%、65%)の曖昧度を指定した曖昧検索。	オンライン処理	既存要件	
				検索状態の解除	検索によって絞り込んだ結果の解除については、以下の機能を有すること。 検索結果を全て解除し、初期状態に戻す。 検索結果をひとつ前の状態に戻す。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				表示機能				
				覚書一覧表示	覚書の一覧として、覚書件数、体系名称、件名、取交年月日・番号を表示すること。 なお、全文検索実行後はヒットした覚書ごとに、検索キーワードごとのヒット件数を表示することができること。また、覚書の一覧と同時にユーザ情報を表示することが可能であること。一度に表示する件数は100件までとするが、検索によって絞り込まれた覚書件数が1000件以下の場合は、全ての覚書を1度に表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				体系情報表示	覚書の体系名称を覚書一覧と同時に表示すること。体系名称を選択することにより、当該項目に含まれる通知のみを一覧表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				覚書本文表示	覚書の一覧から任意の覚書件名を選択することにより、当該覚書の本文を表示することができること。なお、全文検索実行後は検索キーワード毎に色別で強調表示し、ヒット箇所にはジャンプすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				書誌情報表示	選択された覚書の件名、体系情報、制定／改正情報を本文と同時に表示すること。	オンライン処理	既存要件	
				イメージ表示	イメージが存在する場合は覚書本文中に表示すること。また、イメージを別画面にて拡大／縮小表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				検索条件表示	検索によって覚書を絞り込んだ場合、それまでに実行した検索条件の一覧を表示することができること。	オンライン処理	既存要件	
				更新履歴表示	データ更新を行なった履歴を、更新した順番で表示すること。	オンライン処理	既存要件	
				その他機能				
				ファイル出力	覚書本文の全体または選択した構成要素を、RTF形式ダウンロードすることができること。	オンライン処理	既存要件	
				書式設定	覚書本文の文字サイズ／行間／字間を任意に変更することができること。なお、設定した書式は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ情報	覚書毎にユーザ独自の情報を付加することができること。また、登録したユーザ情報は検索、一覧画面及び本文画面での表示が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				シソーラス設定	検索時に利用するシソーラス辞書は、関連語ごとに有効／無効を設定することができること。なお、シソーラスの有効／無効設定は本システムを終了するまで継続すること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ辞書	検索時に使用するシソーラス辞書に対して、ユーザ独自に辞書用語の追加／更新を行なうことができること。	オンライン処理	既存要件	
				ユーザ管理	本システムに登録／更新を行なうことができる利用者IDを登録できること(本システムは厚生労働省全職員が利用できるが、登録／更新についてはIDを登録したユーザのみ可能とすること。)	オンライン処理	既存要件	
				オンラインヘルプ	オンラインヘルプを任意の時点で参照することができること。	オンライン処理	既存要件	
	コミュニケーションサービス	<b>リアルタイムコミュニケーション</b>						
		プレゼンス機能						
				在席確認	職員は指定したユーザがオンラインであるかを確認できること。	オンライン処理	既存要件	
		メッセージ機能						
				リアルタイムメッセージ	職員はメールに代わり、簡易な文章内容をインスタントメッセージで伝えることができること。	オンライン処理	既存要件	
				リアルタイムメッセージログ記録	リアルタイムメッセージのログを記録することで、職員の不要なメッセージのやりとりなどを追跡できること。	オンライン処理	既存要件	
		統計管理機能						
				利用統計情報の取得	利用が多い時間帯や利用者などの統計情報を取得することができること。	オンライン処理	既存要件	
		勤怠報告機能						
				勤怠ログ確認	本省内の管理者が、管理対象職員は出勤日当日の勤務時間を把握できること。	オンライン処理	新規要件	
				出力機能	勤怠データをCSV、および、PDFファイルに出力できること。	オンライン処理	新規要件	
				仮想デスクトップ利用	仮想デスクトップサービスを利用したデスクトップからテレワーク向け勤怠管理機能を利用できること。	オンライン処理	新規要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>Web会議</b>						
		コミュニケーション機能						
				音声通話	参加者間で音声通話を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				チャット	参加者間でインスタントメッセージ送受信を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				ホワイトボード	ホワイトボード機能(Web会議中における、文字、図形等の入力・共有機能)を利用可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				プレゼンテーション・ドキュメント共有	Microsoft Office 2007、2010又は2013にて作成したファイル、PDFファイル、主要な画像ファイル (GIF、JPEG、PNG、TIFFを少なくとも含むこと)、テキストファイルを参加者間で共有することを可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				Webカメラ	Webカメラを経由した映像を参加者間で共有可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				デスクトップ共有	デスクトップ画面を参加者間で共有可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				会議録画	会議の録画を容易に操作可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
		会議環境管理						
				優先制御	回線が低速の場合には一部機能を制限し、音声通信を優先する対応を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				アクセス権管理	アクセス権を保持していない場合でも、アクセス権保持者による招待等を行うことによりゲストとしての利用を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				同時開催会議	同時開催可能な会議は25会議とし、1つの会議あたり200名の参加を可能とすること。その際、最低5名が同時発言できることとする。また、全員が同時発言を必要とする会議では、10人以上の同時利用が可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
		運用関連						
				インターネット接続	インターネットに接続されている状態であれば、災害時等であっても利用可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				運用	24時間365日利用可能な状態とすること。ただし、システムメンテナンス等による一時的なサービス停止は可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
		運用関連						
				利用状況ログ取得	利用状況のログを取得し、適宜報告を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				システム利用機器管理	インカムやWebカメラ等のシステム利用に必要な機器の管理については、PJMOと協議のうえ、役割分担を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
	ファイル共有サービス(作業中文書領域)	<b>ファイル共有(作業中文書領域)</b>						
		管理機能						
				ファイル保存・削除	職員が自身の権限に沿って、作業中文書領域の各領域、フォルダにファイルを保存・削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				アクセス制御	作業中文書領域の各領域、フォルダに対する閲覧権限に応じて、閲覧不可能なファイル、フォルダを非表示とすること。	オンライン処理	既存要件	
				権限変更	ファイル、フォルダに対する権限の設定変更を可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				容量制限	作業中文書領域の各領域、フォルダにクォータ設定を行い、使用可能容量を制限すること。 なお、次期省内LANシステムでは、現行NWシステムでは部局、課室、個人の単位で用意されている領域の拡大を行うこととしているため、次期省内LANシステムで想定するストレージ容量について、「別紙● 情報・データ一覧」を参照のこと。	オンライン処理	既存要件	
				ファイル・フォルダ復元	ファイル・フォルダを削除した場合でも、以前のバージョンのファイル、またはフォルダを復元可能とすること。	オンライン処理	既存要件	
				使用状況調査	作業中文書領域、削除前領域の使用状況をレポートすること。	オンライン処理	既存要件	
				スキャンデータ共有	複合機でスキャンしたスキャンデータを、スキャンを実施した職員の個人領域に転送するため、複合機と連携できるインタフェース仕様を定めること。なお、複合機は端末・周辺機器等調達事業者にて調達するため、機器情報について情報連携の上、仕様を定めること。	オンライン処理	既存要件	
		検索機能						
				文書検索	文書検索要求に対する検索結果を利用者に示すこと。	オンライン処理	既存要件	
				文書検索インデックス更新	高速検索を実現するためのインデックス情報を更新すること。	オンライン処理	既存要件	
		アーカイブ機能						
				アーカイブ対象抽出	作業中文書領域から整理対象文書ファイルを抽出すること。	オンライン処理	既存要件	
				アーカイブ退避	指定した条件により、整理対象とする作業中文書領域内の文書ファイルをアーカイブ領域に自動で退避できること。	オンライン処理	既存要件	
				アーカイブ削除	削除前領域に退避済の文書ファイルを削除すること。	オンライン処理	既存要件	
		監視						

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足	
				ログ管理	作業中文書領域から各自のクライアントPCや外付けデバイス等へのデータ取り込みのログが取得でき、どの文書を誰がダウンロードしたかをシステム管理者が追跡できるとともに、ファイル更新等のログが取れること。	オンライン処理	既存要件		
				運用関連					
				文書管理担当者の設置	受注者は、文書管理担当者を配置し、利用者が作成・共有する文書について、以下の項目を中心とした情報共有の高度化に向けた取り組みを、契約期間中に渡り、継続的に実施すること。 ・各文書領域の利用目的、利用方法、及び制限事項等について、明確な運用手順及び運用ルールを定義し、ドキュメントを作成・配布の上、利用者に対する教育・研修を徹底すること。 ・各文書領域での文書共有状況を継続的にモニタリングし、確定文書領域の活用度、利用者の理解度、ルールの徹底度等を評価すること。 ・モニタリング結果をもとに改善策を検討し、運用ルールの変更、利用者の意識向上のための周知活動等、継続的に施策を実施すること。 ・各文書領域の一定の階層のフォルダについて、利用者からの申請に基づき新規フォルダを作成する業務を実施すること。	オンライン処理	既存要件		
				アーカイブポリシーの設定	PJMOと協議の上、アーカイブポリシーの設定を行うこと。	オンライン処理	既存要件		
				領域利用状況レポート	フォルダの使用率、ドライブの使用率により領域利用状況を把握するため、週次のレポートを作成し、分析を行うこと。	オンライン処理	既存要件		
				フォルダ棚卸	年に1回、フォルダの棚卸を実施し、1年以上更新のないフォルダは、当該フォルダの管理者に削除通知メールを送信の上、当該管理者から特段の指示がない限り、14日後に削除すること。	オンライン処理	既存要件		
				新規フォルダ作成	文書領域の一定の階層のフォルダについて、利用者からの申請に基づき新規フォルダを作成する業務を実施すること。	オンライン処理	既存要件		
				データの復元	管理者の指示を受け、アーカイブ領域またはテープ等の外部媒体からデータの復元を実施すること。	オンライン処理	既存要件		
業務処理系システム	会計予算事務処理サービス	<b>会計予算事務処理サービス: 現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること</b>							
		各課メニュー							
		示達額依頼表							
				依頼表抽出	依頼表を入力するうえでの入力条件(所管、組織、項、目、年月等)により依頼表テーブルからデータの抽出を行えること。	オンライン処理	既存要件		
				依頼表入力	抽出された依頼表データを編集可能な状態に一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件		
				依頼表編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件		
				依頼表印刷	示達額依頼表を出力できること。	オンライン処理	既存要件		
				依頼表報告	部局に処理が終了したことを報告できること。(依頼表データに課報告日時、報告済みサインが登録されること)	オンライン処理	既存要件		
		支払計画予定総表							
				支払計画予定総表抽出	支払計画予定総表を入力するうえでの入力条件(所管、組織、項、年度四半期)により支払計画予定総表テーブルからデータの抽出を行えること。	オンライン処理	既存要件		
				支払計画予定総表入力	抽出された支払計画予定総表データを編集可能な状態に一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件		
				支払計画予定総表編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件		
				支払計画予定総表印刷	支払計画予定総表を出力できること。	オンライン処理	既存要件		
				支払計画予定総表報告	部局に処理が終了したことを報告できること。(支払計画予定総表データに課報告日時、報告済みサインが登録されること)	オンライン処理	既存要件		



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		部局メニュー						
		示達額依頼表						
				依頼表報告	各課からの報告済みデータにより確認を行い、担当各課がすべて終了したことを確認し、会計課へ報告できること。(依頼表データに部報告日時、報告済みサインが登録されること)	オンライン処理	既存要件	
				依頼表印刷	示達額依頼表を出力できること。	オンライン処理	既存要件	
		支払計画予定総表						
				支払計画予定総表報告	各課からの報告済みデータにより確認を行い、担当各課がすべて終了したことを確認し、会計課へ報告できること。(支払計画予定総表データに部報告日時、報告済みサインが登録されること)	オンライン処理	既存要件	
				支払計画予定総表印刷	支払計画予定総表を出力できること。	オンライン処理	既存要件	
				報告状況表示	依頼表テーブル、支払計画予定総表から各課の報告処理により報告状況を表示できること。(課コード単位に表示を行えること)	オンライン処理	既存要件	
		会計課メニュー						
		帳票出力						
				県別支払計画まとめ表印刷	依頼表データを元に帳票を出力できること。	オンライン処理	既存要件	
				施設別支払計画まとめ表印刷	依頼表データを元に帳票を出力できること。	オンライン処理	既存要件	
				支払計画予定総表作成	支払計画予定総表データを元に帳票を出力できること。(四半期毎の出力)	オンライン処理	既存要件	
				支払計画予定総表まとめ表印刷	支払計画予定総表データを元に帳票(まとめ表)を出力できること。(四半期毎の出力)	オンライン処理	既存要件	
				A・B表印刷	A・B表、依頼表、支払計画予定総表データを元に帳票を出力できること。	オンライン処理	既存要件	
				支払計画表印刷	依頼表データ、支払計画予定総表データを元に帳票を出力できること。(四半期毎の出力)	オンライン処理	既存要件	
				支払計画差引表印刷	依頼表データ、支払計画予定総表データを元に帳票を出力できること。(四半期毎の出力)	オンライン処理	既存要件	
		A・B表作成						
				A・B表(選択)	本年度又は繰越、年月日を入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				A・B表(入力)	A・B表範囲外入力する予算科目コードを入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				A・B表(範囲外登録)	範囲外、摘要1、摘要2を入力しA・B表範囲外の登録を行えること。	オンライン処理	既存要件	
		予算現額台帳作成						
				予算現額台帳抽出	予算現額台帳を入力するうえでの入力条件(所管、組織、項、年度、摘要、決定年月日、承認年月日、承認等番号)により予算現額台帳テーブルからデータの抽出を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				予算現額台帳入力	抽出された予算現額台帳データを編集可能な状態に一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				予算現額台帳編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				予算現額台帳印刷	予算現額台帳を出力できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				マスタメンテナンス				
				予算科目メンテナンス	予算科目テーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				予算科目編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				部局課室コードメンテナンス	部局課室コードテーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				部局課室コード編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				摘要コードメンテナンス	摘要コードテーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				摘要編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				施設コードメンテナンス	施設コードテーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				施設編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				都道府県コードメンテナンス	都道府県コードテーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				都道府県編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				経費コードメンテナンス	経費コードテーブルからデータを一覧形式に表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				経費編集	一覧表示から選択されたデータを別ウィンドウにて編集(更新、入力)を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				各部局別表作成状況確認				
				部局別表作成状況確認(予定総表)	予定総表作成状況の確認を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				部局別表作成状況確認(示達額依頼等)	示達額依頼表等作成状況の確認を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				運用管理 旧データ削除	削除を行う年度を入力し該当する年度のデータを削除する。	オンライン処理	既存要件	
				運用関連				
					帳票出力時に生成されるPDFファイルは、削除用のバッチファイルを用いて削除すること。	バッチ処理	既存要件	
	地方厚生局業務処理サービス	<b>地方厚生局業務処理サービス: 現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること</b>						
				地方厚生局業務処理システム				
				メインメニュー				
				対象地方厚生局選択	日本地図から各地方厚生局名を選択できること。	オンライン処理	既存要件	
				地方厚生局個別メニュー				
				一覧画面選択	リストから使用したい機能を選択し、画面右部に一覧を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				受付対象申請・届出一覧				
				新規作成	申請・届出の新規作成(個別作成および一括作成)、再申請受付が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				一括入力	受付日、審査担当者を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				処理状況通知登録	処理状況を汎用受付システムに登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				強制再申請済み登録	再申請待ちの申請・届出を申請済み状態に変更できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				審査対象申請・届出一覧				
				一括入力	審査結果等を一括入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				処理状況通知登録	処理状況を汎用受付システムに登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				通知対象申請・届出一覧				
				一括入力	受付担当者を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				処理状況通知登録	処理状況を汎用受付システムに登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				結果通知登録	電子申請された申請・届出の審査結果を汎用受付システムに通知できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				取り下げ対象申請・届出一覧				
				取り下げ結果送信	取り下げ審査の結果を汎用受付システムへ送信できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				申請・届出情報詳細				
				閉じる	申請・届出の詳細画面を閉じられること。	オンライン処理	既存要件	
				登録	申請・届出を登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集できること。	オンライン処理	既存要件	
				処理状況通知登録	汎用受付システムに処理状況を登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				客体情報引継解除	申請・届出に引き継がれている客体情報をクリアできること。	オンライン処理	既存要件	
				客体情報参照	申請・届出に客体情報画面を開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル添付	原本ファイル添付画面を開き、原本ファイルを添付できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				客体機能一覧				
				新規作成	客体情報を新規に作成できること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	客体情報の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	客体情報の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				客体情報一括修正	複数の客体情報をExcel ファイルから一括で修正できること。	オンライン処理	既存要件	
				削除	客体情報を削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている客体情報データの検索を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	客体情報をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				客体情報詳細				
				客体情報	客体情報を業務ごとに必要なフィールドで表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				客体情報ビュー	表示される一覧を切り替えることができること。	オンライン処理	既存要件	
				監査・監視対象一覧				
				新規作成	監査・監視計画情報を新規に作成できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	監査・監視計画情報をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	監査・監視計画情報の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	監査・監視計画情報の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	監査・監視計画情報の検索を行えること。	オンライン処理	既存要件	
				監査・監視対象詳細				
				閉じる	監査・監視計画情報の詳細画面を閉じられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	監査・監視計画情報の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				削除	監査・監視計画情報を削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				登録	監査・監視計画情報を登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				処理状況別一覧(文書ファイル一覧)				
				処理状況別件数集計	選択文書、もしくは指定した期間内の文書を処理状況別に集計できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				新文書管理システム(府省共通)	新文書管理システム(府省共通)を起動できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcel で開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				削除	申請・届出を削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				手続別一覧(文書ファイル一覧)				
				処理状況別件数集計	選択文書、もしくは指定した期間内の文書を処理状況別に集計できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				新文書管理システム(府省共通)	新文書管理システム(府省共通)を起動できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				削除	申請・届出を削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				申請者別一覧(文書ファイル一覧)				
				処理状況別件数集計	選択文書、もしくは指定した期間内の文書を処理状況別に集計できること。	オンライン処理	既存要件	
				原本ファイル保存	申請・届出に添付されている原本ファイルを保存できること。	オンライン処理	既存要件	
				新文書管理システム(府省共通)	新文書管理システム(府省共通)を起動できること。	オンライン処理	既存要件	
				印刷	申請・届出を印刷できること。	オンライン処理	既存要件	
				Excelで開く	申請・届出をExcelで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				参照	申請・届出の詳細画面を参照モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				編集	申請・届出の詳細画面を編集モードで開けられること。	オンライン処理	既存要件	
				削除	申請・届出を削除できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索	一覧に表示されている申請・届出データの検索が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				申請・届出情報				
				処理状況	処理状況を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				申請情報	申請・届出に関する基本的な情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				申請者情報	電子申請・届出情報で、該当する項目のデータを持っている場合、自動的に入力されること。	オンライン処理	既存要件	
				連絡先情報	電子申請・届出情報で、該当する項目のデータを持っている場合、自動的に入力されること。	オンライン処理	既存要件	
				受付	申請・届出情報の受付情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				審査	申請・届出情報の審査情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				通知書作成	通知書作成時および事務連絡情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				業務固有項目	帳票を印刷する際にシステムから引き継ぐ必要のあるデータが入力できること。	オンライン処理	既存要件	
				添付ファイル	通知書類ファイルを添付できること。	オンライン処理	既存要件	
				取下げ審査	申請・届出業務では編集不可の状態であること。	オンライン処理	既存要件	
				ビュー	表示される一覧を切り替えることができること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足		
共有基盤システム	認証アクセス基盤サービス	人事異動情報システム	事業所情報							
				組織名	客体情報(健康保険組合)から値を引き継ぎ、自動入力されること。編集は不可となること。	オンライン処理	既存要件			
				事業所名	事業所の名前を入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				郵便番号	事業所の郵便番号を入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				住所	事業所の住所を入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				電話番号	事業所の電話番号を入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				FAX番号	事業所のFAX番号を入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				メールアドレス	事業所のメールアドレスを入力できること。	オンライン処理	既存要件			
				備考	備考が入力できること。	オンライン処理	既存要件			
			原本ファイル							
						原本ファイル名登録	添付する原本ファイル名を登録できること。	オンライン処理	既存要件	
						原本ファイル添付	原本ファイルを添付できること。	オンライン処理	既存要件	
						職権修正	職権修正ファイルのダウンロードとアップロードを行えること。	オンライン処理	既存要件	
			客体監査情報							
						処理状況	処理状況が表示されること。	オンライン処理	既存要件	
						計画	監視監査業務の計画に関する情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
						通知	監視監査業務の指導監査通知に関する情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
						監査結果	監視監査業務の指導監査結果に関する情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
						改善状況	監視監査業務の客体の改善状況に関する情報が入力できること。	オンライン処理	既存要件	
						客体監査履歴ビュー	客体の監査履歴を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
			データメンテナンス							
						全文書一覧	全文書が表示され、選択した文書の修正を行えること。	オンライン処理	既存要件	
						メンテナンスログ一覧	メンテナンスログが表示されること。	オンライン処理	既存要件	
			アクセス管理							
						アクセス管理	データベース、画面、文書ごとにユーザのアクセスを管理できること。	オンライン処理	既存要件	
			補助金執行状況管理システム							
			補助金執行状況管理システムメニュー							
						一覧画面選択	リストから使用したい機能を選択し、画面右部に一覧を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
			[厚生局単位]補助金進行状況管理							
						補助金別	補助金別に補助金進行状況が管理できること。	オンライン処理	既存要件	
						状況別	状況別に補助金進行状況が管理できること。	オンライン処理	既存要件	
			[自治体単位]補助金進行状況管理							
						補助金別	補助金別に補助金進行状況が管理できること。	オンライン処理	既存要件	
						状況別	状況別に補助金進行状況が管理できること。	オンライン処理	既存要件	
			Q&A							
						本省への照会・回答	本省への照会・回答を本省原局別にカテゴリ化された一覧で表示できること。	オンライン処理	既存要件	
						質問内容区分	本省への照会・回答を質問内容区分別にカテゴリ化された一覧で表示できること。	オンライン処理	既存要件	
						事務処理関係	事務処理で必要とする様式ファイルを添付する等、担当者間で共有すると便利なものを保管できること。	オンライン処理	既存要件	

共有基盤システム 認証アクセス基盤サービス 人事異動情報システム: 現行アプリケーション資源の再利用を原則とするため、各機能の詳細について設計書を確認すること

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		入力機能						
				異動データ入力機能	職員の異動データをシステムに入力し、登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				異動データチェック機能	登録された異動データが適切なデータであるかをチェックできること。	オンライン処理	既存要件	
				異動データ修正機能	システムに入力されている異動データに対して、データを修正できること。	オンライン処理	既存要件	
				異動データ削除機能	システムに入力されている異動データに対して、データを削除できること。	オンライン処理	既存要件	
		出力機能						
				異動データ一覧表示機能	システムに入力されている異動データを一覧表示できること。氏名の重複者一覧を表示し、その一覧を使用して、異動種別の退職者を外向者に変更できること。GIMAから取込んだ利用者認証情報、またはGIMAへ渡すための利用者認証情報の一覧を表示できること。	オンライン処理	既存要件	
				異動データファイル出力機能	CSVファイル形式で、異動データを出力できること。GIMAへ渡すための、新規に登録した利用者認証情報をXML形式で出力できること。	オンライン処理	既存要件	
				GIMA登録者権限情報出力機能	GIMAにおいて権限変更を必要とする可能性のある職員の一覧を、GIMAの権限情報XMLファイルの形式で出力できること。	オンライン処理	既存要件	
		連携機能						
				他システムとの連携機能	「統合ディレクトリサービス」に接続するシステム、「汎用申請・届出等省内処理システム」、「情報公開事案管理システム」及び「保険医療機関等管理システム」に異動データを連携できること。GIMAから利用者認証情報を取込むことができること。	オンライン処理	既存要件	
		管理機能						
				組織情報マスタ管理機能	組織情報を登録、修正、削除できること。単一組織の組織名変更時に異動情報を作成できること。GIMA連携を行う有無の設定を課室単位に行えること。	オンライン処理	既存要件	
				認証機能	人事異動情報システムを利用可能な職員であることを判別できること。	オンライン処理	既存要件	
		運用関連						
				運用作業	人事異動情報サービスの運用に際して、運用管理項目毎に、PJMO、受注者間で作業分担を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				バッチ処理運用	PJMOと協議の上、バッチ処理を用いて、以下の処理を行うこと。 ①退職より一定期間が経過した利用者のメールアドレスの削除 ②メールを用いて、人事異動の際の異動情報の登録状況(件数)を指定したメールアドレスに自動送信 ③設定された異動日に基づき、各異動情報を登録済み情報に更新 ④GIMA、汎用申請・届出等省内処理システム、省庁間文書交換システム及び保険医療機関等管理システムと異動情報を連携するためのCSVファイルを作成。	バッチ処理	既存要件	
				個別システム利用支援	GIMAと人事異動情報サービス(又は、認証・アクセス管理基盤の各種サービス)との機能的な連携を用いても、全ての作業を自動化できない場合を含め、利用者が府省共通システム、NWシステム、人事異動情報サービスよりデータを取得する個別システム(汎用申請・届出等省内処理システム、省庁間文書交換システム、保険医療機関等管理システム)を円滑に利用するために必要となる全ての作業を、受注者の役務として提供すること。	オンライン処理	既存要件	
				人事情報連携	次期省内LANシステムにおいて、人事異動情報を連携している個別システムの他、別途申請があった個別システムについても、PJMOと協議の上、人事異動情報を連携すること。なお、その際の責任と負担については、本件受託後、PJMO、対象となる個別システム管理責任者及び個別システム運用・保守業者と調整の上、決定することとする。	オンライン処理	既存要件	
		<b>統合ディレクトリサービス</b>						
		登録機能						
				データ定義機能	メタディレクトリとして統合ディレクトリに格納するデータを定義できること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
<b>連携機能</b>								
				他システムデータ更新機能	人事異動情報サービスから取り込んだデータを他システムに対し直接更新できること。システムはアクセス権管理サービス及び統合ディレクトリサービス内の検索用ディレクトリ、2次アドレス帳を対象とすること。	オンライン処理	既存要件	
				2次アドレス帳連携機能	次期省内LAN利用者と次期省内LANを使用しないユーザのメールアドレス情報を統合ディレクトリサービスの2次アドレス帳より提供できること。次期省内LANを使用しないユーザがアドレス帳の検索、一覧表示を行う際は職員録を利用すること。	オンライン処理	既存要件	
				連絡先連携機能	2次アドレス帳が保有するユーザ情報のうち、調達外システムから登録される情報をアクセス権管理サービスへ連携し、配布グループとの紐付けできること。連携する情報は、人事異動情報サービスから連携するユーザ情報と異なる情報(連絡先)として登録できること。	オンライン処理	既存要件	
				検索用ディレクトリ連携機能	統合ディレクトリサービスの検索用ディレクトリより連携対象システムに対し提供できること。	オンライン処理	既存要件	
<b>取込・生成機能</b>								
				人事異動情報取り込み機能	人事異動情報サービスのデータを取り込めること。統合ディレクトリサービスの持つデータとの差分あるいは全件の取り込みを実現すること。	オンライン処理	既存要件	
				CSVデータ出力機能	人事異動情報サービスから取り込んだデータをCSV出力し、連携対象システムに対し提供できること。	オンライン処理	既存要件	
<b>運用関連</b>								
				運用サービス	「参考資料●個別サービスの運用スケジュール」に基づき、統合ディレクトリサービスに関する各機能の運用サービスを提供すること。	オンライン処理	既存要件	
				定期運用作業(バッチ)	「参考資料●統合ディレクトリサービスの定期・非定期運用作業一覧」に示すとおり、バッチ処理を用いた定期運用作業、また、連携対象システムが追加・変更された際の非定期運用作業を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				職員録データ取込	当省の各組織から、CSVファイル等で職員録データの提供があった場合には、そのデータの取り込みを行うこと。	オンライン処理	既存要件	
				利用者情報連携	次期省内LANシステムにおいて、利用者情報を連携している個別システムの他、別途申請があった個別システムについても、PJMOと協議の上、利用者情報を連携すること。なお、その際の責任と負担については、本件受託後、PJMO、対象となる個別システム管理責任者及び個別システム運用・保守業者と調整の上、決定することとする。	オンライン処理	既存要件	
<b>アクセス権管理システム</b>								
<b>運用管理</b>								
				アクセス制御	利用者に権限を割り当て、職員ポータル、グループウェア、ファイル共有機能へのログインを制御し、アクセス権の設定等を集中管理できること。	オンライン処理	既存要件	
				認証	セキュリティポリシーとユーザ認証情報を使用し、利用者のログオンを認証する。利用者はパスワードを使用して、ドメインアカウントにログオンできること。	オンライン処理	既存要件	
				パスワード管理	パスワードの有効期限を設定し、利用者に対して有効期限到来前にパスワード変更を促すメッセージを通知し、利用者による変更ができること。また、有効期限が超過した際は、自動的にアカウントをロックできること。	オンライン処理	既存要件	
				メーリングリストグループ	メーリングリストのあて先情報として利用する配布グループを管理できること。メーリングリストの表示やメールのあて先を指定する場合の情報を提供できること。	オンライン処理	既存要件	
<b>運用関連</b>								
				運用サービス	「参考資料●個別サービスの運用スケジュール」に基づき、アクセス権管理サービスに関する各機能の運用サービスを提供すること。	オンライン処理	既存要件	
				アクセス権更新	人事異動が集中する期末及び年度末のアクセス権更新についても、毎日午前6時までに全システム(個別サービスの)のアクセス権の更新を完了し、利用者がシステム(個別サービス)を利用可能な状態とすること。	オンライン処理	既存要件	
				新組織対応	新組織の発足、組織名称の変更、及び旧組織の廃止の際に、PJMOと協議の上、組織情報の登録、更新、及び削除処理を行うこと。また、当省からの要求に応じ、アクセス権管理サービスにて管理する利用者情報の更新処理を行うこと。	オンライン処理	既存要件	
<b>シングルサインオンシステム</b>								
<b>認証管理</b>								
				認証・認可機能	シングルサインオンシステムに対し、全対象システムに対するユーザIDとパスワードを一元的に管理し、ログイン認証を行う。また、各システム単位での利用可否(アクセス権)の一元的管理をし、認可機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
				URL変換(リバースプロキシ機能)	シングルサインオンサービスではリバースプロキシサーバを構築し、URLの変換機能を提供すること。	オンライン処理	既存要件	
<b>セッション管理</b>								



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足			
				セッション管理機能	アイドルタイムアウト(一定時間アクセスがない場合のタイムアウト)、セッションタイムアウト(セッションのライフタイム)を Webサーバエージェント毎に設定できること。	オンライン処理	既存要件				
				ログアウト	認証済み状態のクリア(認証済みCookieの破棄)は、ブラウザを閉じることにより実現できること。	オンライン処理	既存要件				
		運用管理				アクセス権管理サービスとの同期	本シングルサインオンシステムでは、認証用の唯一のデータストアとして、アクセス権管理サービスで導入するActiveDirectoryを利用する。そのため、人事異動等により、職員の入出が発生した場合であっても、シングルサインオンサービスでは、ユーザの追加、削除を意識する必要はなく、常にアクセス権管理サービスと同じ情報を同期的に利用できること。	オンライン処理	既存要件		
		運用関連				アクセス権限設定変更	新組織の発足、組織名称の変更、及び旧組織の廃止の際に、必要に応じて、シングルサインオン連携をするためのアクセス権限の設定変更を行うこと。	オンライン処理	既存要件		
						シングルサインオンサービス提供	次期省内LANシステムにおいて、シングルサインオンサービスを提供している個別システムの他、別途申請があった個別システムについても、PJMOと協議の上、シングルサインオンサービスを提供すること。なお、その際の責任と負担については、本件受託後、PJMO、対象となる個別システム管理責任者及び個別システム運用・保守業者と調整の上、決定することとする。	オンライン処理	既存要件		
		統合運用管理サービス		<b>ソフトウェア配布システム</b>							
						配布	要件定義書「第三章 第17節 保守に関する事項 1 基本事項」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムのソフトウェア製品、ハードウェア製品、仮想デスクトップ、仮想ブラウザ及び端末・周辺機器の賃貸借・保守事業者が調達する執務室用PCIに対して適切にパッチを適用できるシステムを構築すること。また、パッチ適用時には次期省内LANシステムのネットワーク等の負荷軽減のため、スケジューリングに配慮して実施すること。	オンライン処理	既存要件		
						基本機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.3.7.資源配付管理」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件		
				<b>ジョブ管理システム</b>							
						ジョブ実行・管理	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視等要件」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムで定めるSLAを遵守する、ジョブ管理システムを構築すること。	オンライン処理	既存要件		
				基本機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.7.ジョブ管理の機能/非機能要件」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件				
		<b>監視システム</b>									
				監視機能	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視等要件」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムで定めるSLAを遵守する、監視システム及び監視コンソールとして運用員に通知する仕組みを構築すること。	オンライン処理	既存要件				
				サーバ監視機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.3.サーバ管理の機能/非機能要件」のうち、「2.9.3.2.パフォーマンス管理」及び「2.9.3.3.障害管理」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件				
				ネットワーク監視機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.4.ネットワーク管理の機能/非機能要件」のうち、「2.9.4.2.トラフィック管理」及び「2.9.4.3.障害管理」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件				
				ストレージ監視機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.5.ストレージ管理の機能/非機能要件」のうち、「2.9.5.2.性能管理」、「2.9.5.3.資源(容量)管理」及び「2.9.5.4.障害管理」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件				
		<b>構成管理システム</b>									
				資産及び構成管理機能	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視等要件」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムのサービス資産及び機器構成情報について最新状態を維持管理する仕組みを構築すること。	オンライン処理	既存要件				
		<b>バックアップ管理システム</b>									
				可用性及び継続性管理機能	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視等要件」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムの可用性及び継続性を維持するため、各種システム及びデータのバックアップを管理するシステムを構築すること。	オンライン処理	既存要件				
				基本機能	「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)物品調達編—平成25年度版(H27.3)」の「2.9.3.5.バックアップ管理」に記載の基本要件を満たすこと。	オンライン処理	既存要件				

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足	
		<b>ログ管理システム</b>							
				ログ管理機能	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視等要件」及び「第三章 第10節 情報セキュリティに関する事項 3(3)証跡管理」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムのログ集対象の機器に対して、出力されるログを管理するシステムを構築すること。出力されたログについては、検索、分析等も容易に実施可能なシステムとし、PJMOからの要望に応じてレポート可能な機能を有すること。	オンライン処理	既存要件		
		<b>ヘルプデスク支援システム</b>							
				ヘルプデスク支援機能	要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 1 運転管理・監視塔要件に加え、3 運用サポート業務及び4 業務運用支援」に記載された要件を満たした上で、次期省内LANシステムのヘルプデスクで管理すべき事項を一元的に管理可能なシステムを構築すること。 また、要件定義書「第三章 第16節 運用に関する事項 5 運用実績の評価と改善」に記載された運用期間中におけるPDCAサイクルを実現するため、運用期間中の改善提案に資する情報を蓄積することが可能とすること。	オンライン処理	既存要件		
		<b>FAQ</b>							
		基本機能							
				一般利用者(職員)機能	FAQシステムに登録されている、お知らせ情報をWebページとして表示できること。FAQシステムに登録されているFAQ情報を検索し、Webページとして表示できること。また、FAQコンテンツの新着情報やアクセス数の多い順からトップ10をWebページとして表示できること。	オンライン処理	既存要件		
				管理ツール機能	お知らせ情報やFAQを登録、編集し、FAQを管理ツール内で管理し、承認後、公開できること。FAQの検索回数、アンケート回答に関する統計を集計できること。	オンライン処理	既存要件		
				インポート/エクスポート機能	データバックアップとして、管理者用ログインを行い、FAQ データやカテゴリ、メッセージなどのデータをインポート、及びエクスポートできること。	オンライン処理	既存要件		
		情報セキュリティ管理サービス		<b>マルウェア対策(サーバ)</b>					
基本機能									
				基本要件	マルウェア対策ソフトウェアは、最新のパターンファイルの自動更新及びマルウェアを検知した際の自動駆除等の機能を有し、日本語に対応していること。	オンライン処理	既存要件		
				運用要件	マルウェア対策ソフトウェア、検索エンジン、及びパターンファイルの更新等マルウェア対策ソフトウェアの運用上必要な事項は、受注者の負担において、実施すること。	オンライン処理	既存要件		
管理機能									
				アクセス権管理	マルウェア対策ソフトウェアは常駐させ、アドミニストレータ権限を持たない利用者が、解除できない仕組みとすること。	オンライン処理	既存要件		
				スケジュール管理	マルウェアチェックは、実施のタイミング及び日時指定がスケジュール指定できること。	オンライン処理	既存要件		
				更新管理	管理サーバより、マルウェア対策ポリシー及びパターンファイルの更新方法が一括して設定できること。ただし、個々の環境においては、設定内容の変更はできない仕組みとすること。	オンライン処理	既存要件		
				マルウェア対策(サーバ)の管理対象範囲	マルウェア対策(サーバ)の管理対象範囲は次期省内LANで調達する全てのサーバとすること。	オンライン処理	既存要件		
パターンファイル管理									
				パターンファイル適用	パターンファイルの更新については、ソフトウェアベンダー等において、パターンファイルが公開された時点で、迅速に次期省内LANシステムに適用できる仕組みを構築すること。	オンライン処理	既存要件		
				パターンファイル更新	パターンファイルの更新については、利用者及びPJMOの作業負担のない方法を実現すること。	オンライン処理	既存要件		
検出・通知機能									
				検出	マルウェア対策ソフトウェアを搭載しないサーバであっても、マルウェアが具体的にどこで検出・駆除されるかが分かるよう進入経路及び端末等を明記すること。	オンライン処理	既存要件		
				通知	マルウェア検出時は、SLA項目に従って、利用者及びPJMOに電子メール等で日本語(マルウェア名等を除き)により、30分以内に通知する機能を持つと同時に、駆除・削除、又は、ファイル拡張子を変更するといった機能を複数選んで処理できること。	オンライン処理	既存要件		
<b>マルウェア対策(エンドポイント)</b>									
マルウェア情報管理機能									
				インポート/エクスポート	マルウェアの情報をインポート/エクスポートできること。	オンライン処理	新規要件		
				自動連携	アンチウイルスやインターネット上のレピュテーションサービスと自動連携する機能を持つこと。ただし、内部環境はインターネットに直接接続しないため、自動連携の対象外とするため、更新方法は別途提案すること。	オンライン処理	新規要件		
クライアントソフト管理機能									
		配布	マルウェア対策のクライアントソフト(バージョンアップモジュール)の配布は管理サーバから一括して行えること。	オンライン処理	新規要件				
		アンインストール	マルウェア対策のクライアントソフトのアンインストールは管理サーバから一括して行えること。	オンライン処理	新規要件				

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				仮想環境対応	エンドポイントが仮想デスクトップサービスまたは仮想ブラウザ(仮想アプリケーションサービス)の場合も対応していること。	オンライン処理	新規要件	
				マルウェア対策(エンドポイント)の管理対象範囲	マルウェア対策(エンドポイント)の管理対象範囲は次期省内LANで調達する仮想デスクトップ、仮想ブラウザ及び端末・周辺機器等の賃貸借・保守事業者の調達するクライアントPCとすること。	オンライン処理	新規要件	
		マルウェア検知・防御機能						
				検知	定義情報に合致した既知のマルウェアの検出・検知に加えて、振る舞い検知型の未知のマルウェア検出機能を持つこと。	オンライン処理	新規要件	
				駆除	マルウェア判定されたファイルを駆除する機能を持つこと。	オンライン処理	新規要件	
				リアルタイム確認	マルウェア判定されたファイルを実行した端末を管理サーバよりリアルタイムに確認できること。	オンライン処理	新規要件	
				感染防止	マルウェア判定されたファイルを実行した端末を自動的にネットワークから隔離する機能又はマルウェア判定されたファイルを実行した端末に対して、ファイル実行そのものを未然に防ぐ仕組みを持つこと等によりマルウェアが他のエンドポイントに拡散し、感染が拡大することを防止する機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				通知	マルウェア実行を検出した際、自動的に管理サーバ上でアラート表示/システム管理者へのメール/SNMP Trapによる通知が行えること。	オンライン処理	新規要件	
		マルウェア対策(メール)						
		基本対策						
				基本要件	設定されたルールに基づく迷惑メールの排除及びルールの設定変更等、迷惑メール対策としての基本機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
				送信メール対策	受信メールだけでなく、送信メールに対しても対策を講ずることが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				暗号化	暗号化が可能であること。ただし、政府全体の動向を踏まえ、適切な暗号化方式に対応できること。	オンライン処理	既存要件	
				ウイルスチェック	送受信メール及び添付ファイルに対するウイルスチェックが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				サーバ保護	メールサーバを対象とした脅威に対する保護機能を有していること。	オンライン処理	既存要件	
		フォレンジック対策						
		調査対象・方法						
				遠隔調査	遠隔からの調査が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				ストレージ	ディスク、ファイルシステム等の調査が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				自動化	自動化により、複数台の調査の効率化が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				データベース	調査結果及び監査記録を保存するデータベースを有すること。	オンライン処理	既存要件	
		操作抑止						
				タイムスタンプ変更抑止	調査中、ファイル等のタイムスタンプの変更を抑止できること。	オンライン処理	既存要件	
				データ変更抑止	調査中、データそのものの変更を抑止できること。	オンライン処理	既存要件	
				上書き抑止	調査中、レポート時等に起こりうる未割り当て領域への上書きを抑止できること。	オンライン処理	既存要件	
				データ改ざん抑止	調査中、その他のデータの改ざん行為を抑止できること。	オンライン処理	既存要件	
		脆弱性診断						
		サーバ診断						
		基本機能						
				脆弱性診断	次期省内LANシステム内で利用している標準OS及びアプリケーションの脆弱性の診断が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				カスタマイズ	診断項目のカスタマイズが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				動作環境	新たに追加される診断項目は、日本語環境下において、検証され、追加されること。	オンライン処理	既存要件	
				オンサイト対応	当省の指示により、オンサイトでのサーバ診断が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
		管理機能						
				一括管理	診断結果の一括管理が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				世代管理	過去の診断結果履歴が5世代以上、参照可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				技術サポート	迅速な技術サポートが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				マニュアル	ヘルプ、マニュアル、レポートが日本語であること。	オンライン処理	既存要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
				データベース	診断結果を保存するデータベースを有すること	オンライン処理	既存要件	
		クライアントPC診断						
		基本機能						
				脆弱性診断	次期省内LANで調達する仮想デスクトップ・仮想ブラウザ及び端末・周辺機器等の賃貸借・保守事業者が調達するクライアントPCに搭載したOSに対して診断が行えること。	オンライン処理	既存要件	
				カスタマイズ	診断項目のカスタマイズが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				動作環境	新たに追加する診断項目は、日本語環境下において、検証され、追加できること。	オンライン処理	既存要件	
				レジストリ調査	レジストリ等の調査が可能なこと。	オンライン処理	既存要件	
				マルウェア対策調査	マルウェア対策ソフトの起動有無の確認が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
		管理機能						
				一括管理	診断結果の一括管理が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				技術サポート	迅速な技術サポートが可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				マニュアル	ヘルプ、マニュアル、レポートが日本語であること。	オンライン処理	既存要件	
				データベース	診断結果を保存するデータベースを有すること。	オンライン処理	既存要件	
		検疫ネットワーク						
		基本機能						
				基本要件	検疫ネットワークは、最新のウイルス及びスパイウェア等のパターンファイルの適用の有無とOS等の最新のセキュリティパッチの適用の有無を確認する機能を有すること。 なお、仮想環境上の端末については、最新パターンファイル及びセキュリティパッチの適用を確実にできる仕組みを導入するため、検疫ネットワークの対象から外す。	オンライン処理	既存要件	
				アップデート確認	ウイルス及びスパイウェア対策ソフトのパターンファイルのアップデートを確認する機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
				不正ソフトウェア確認	「構成管理システム」で管理されていないソフトウェア(以下「不正ソフトウェア」という。)がインストールされていないことを確認する機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
		隔離・遮断機能						
				隔離	不正端末を隔離する機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
				強制適用	隔離した不正端末に対する最新のパターンファイル及びセキュリティパッチの適用等の行為を強制的に実施させるシステム構成が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				遮断	不正端末のネットワーク接続を遮断する機能を有すること。	オンライン処理	既存要件	
				フィルタリング	MACアドレスでフィルタリングが可能であること(5号館のみ実施で差し支えない)。	オンライン処理	既存要件	
		管理機能						
				連携	不正端末の管理の仕組みは、NWシステム内に接続されている管理サーバと連携し実現可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				一括管理	検疫ネットワークで管理するクライアントPCの一括管理が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				接続禁止設定	出張等で一定期間クライアントPCを接続しない場合、クライアントPCの省内のネットワークへの一定期間接続禁止設定等の柔軟な管理が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				ポリシー管理	グループ毎にポリシーが作成可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				適用状況管理	最新のパターンファイル及びセキュリティパッチの適用状況を一元管理可能であること。	オンライン処理	既存要件	



システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>デスクトップポリシー管理</b>						
		ポリシー管理						
				一元管理	管理サーバから操作ポリシー及び設定等の一元管理が可能であること。	オンライン処理	既存要件	
				グループ管理	グループ毎に操作ポリシーが作成可能であること。	オンライン処理	既存要件	
		デバイス管理						
				使用制限	メディアデバイス及びUSBポートの使用を制限し、予め許可したデバイスのみが使用できること。	オンライン処理	既存要件	
		操作ログ管理						
				操作状況	クライアントPCの操作状況を収集し、管理サーバにて集中管理できること。	オンライン処理	既存要件	
				操作抑止	クライアントPCに操作ポリシーを設定し、操作ポリシーに反する操作を抑止し、ログ管理できること。	オンライン処理	既存要件	
		ソフトウェア管理						
				アクセス権	クライアントPCに常駐させるソフトウェアは、アドミニストレータ権限を持たない利用者が、その利用を停止できないこと。	オンライン処理	既存要件	
		<b>SIEMサービス</b>						
		ログ管理						
				暗号化	セキュリティの観点から、ログファイルを転送する際は、暗号化すること。	オンライン処理	新規要件	
				正規化	検索、分析を容易にするため収集したログは正規化等をして保存可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				保存	ログ保存は高速な処理が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				コンソール	統合ログ管理機能を有し、収集した各ログを単一のコンソールから確認できること。	オンライン処理	新規要件	
		ログ分析						
				検索	ログに対して、様々な条件での検索やフィルタリングが実行できること。	オンライン処理	新規要件	
				相関分析	ログ解析には、傾向分析だけでなく、相関分析が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				定期更新	標準提供の相関分析ルールがあること。また定期的に更新されること。	オンライン処理	新規要件	
				情報連携	セキュリティベンダが提供する最新の脅威情報や攻撃手法に関する情報を自動的に取り込み、相関分析のルールに加えることが可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				ふるまい検知	1つのログでは確認できないセキュリティインシデントに対して、イベントの種類時間発生頻度等の情報を基にして正常ではない振る舞いを検出可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				地域情報	IPアドレスから地域情報(国、都市など)を判断し、地域情報に基づくフィルターや、相関分析のルールに利用できること。	オンライン処理	新規要件	
				脅威情報	STIX(Structured Threat Information eXpression) 形式の脅威情報を取り込み、ログの検索が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				イベント分析	ドリルダウン操作等によって、イベントの詳細な分析が実行できること。	オンライン処理	新規要件	
		不正通信検出						
				リスク評価	IPアドレスを有するログに関してIP Reputationリストとマッチングし、不正な通信を検出できること。	オンライン処理	新規要件	
				探索通信	マルウェアに感染したユーザ端末がネットワーク内のさまざまな機器に対してファイル共有の探索行為を行う場合があるため、攻撃者が無作為なIPアドレスに対して行うファイル共有の探索通信を検知できること。	オンライン処理	新規要件	
		ログ連携						
				ログの取り込み	他の機器またはサービスから、少なくともCSVフォーマットでのログの取り込みができること。	オンライン処理	新規要件	
				ログの出力	少なくとも、CSVフォーマットでログの出力ができること。	オンライン処理	新規要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>運用管理</b>						
				日本語対応	ユーザインタフェースは、完全日本語対応であること。	オンライン処理	新規要件	
				グラフィカルレポート	イベント発生状況をグラフィカルなレポートとして提供する機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				定期レポート	定期的に自動で各種レポートが生成可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				ディスク容量削減	解析データ格納に必要なディスク容量を削減する機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				インシデント管理	インシデント管理システムが含まれていること、または他のインシデント管理システムと連携できること。	オンライン処理	新規要件	
				ウィルススキャン	ログ分析の結果に基づき、クライアント端末に対するウィルススキャンの実行などを自動化できる機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
		<b>仮想ブラウザ</b>						
		<b>基本機能</b>						
				アプリケーション配信	サーバからのアプリケーション配信によってInternetExplorerを利用可能なこと。	オンライン処理	新規要件	
				プリント出力	仮想ブラウザからのプリント出力が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				仮想デスクトップ連携	仮想デスクトップ環境から仮想ブラウザにアクセスして動作可能であること。	オンライン処理	新規要件	
		<b>セキュリティ対策</b>						
				接続制限	仮想ブラウザからのみインターネット接続を可能とすること。	オンライン処理	新規要件	
				ファイル授受	内部環境との間でセキュアファイル交換サービスを利用してファイルの授受が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				マルウェア感染抑止	マルウェア感染した場合には、影響範囲を最小限にとどめ、感染拡大を抑止すること。	オンライン処理	新規要件	
		<b>情報漏えい防止サービス</b>						
		<b>管理対象範囲</b>						
				対象範囲	管理対象範囲は次期省内LANで調達する仮想ブラウザとすること。	オンライン処理	新規要件	
		<b>検知・遮断・隔離</b>						
				検知・遮断	電子メールやC&Cサーバ、Webサイトへのアップロードなど、端末から外部にデータを送信する際、あらかじめ定義されたポリシーにマッチした個人情報等のデータが含まれる場合に、その通信を検知・遮断できること。	オンライン処理	新規要件	
				隔離	端末や共有ファイルをスキャンして、個人情報等の保存状況を把握・隔離できること。	オンライン処理	新規要件	
		<b>ポリシー管理</b>						
				ポリシー設定	個人情報等について、あらかじめ定義された条件(ポリシー)を設定できること。	オンライン処理	新規要件	
				ポリシー踏襲	現行システムで適用している条件(ポリシー)をあらかじめ継承して設計・構築を行うこと。	オンライン処理	新規要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		<b>セキュアファイル交換</b>						
		ファイル転送						
				ファイル授受	外部環境と内部環境の間でファイルの授受をファイル転送により可能とする機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				転送タイミング	[周期]、[時刻]、[ファイル]、[サイズ]の何れかの指定した値で転送タイミングを制御できること又は利用者による転送要求に対して、都度処理を行うことで利便性を損なわないこと。複数の利用者が同時に要求した際も並行処理可能なアーキテクチャであること。	オンライン処理	新規要件	
				転送方向制御	データの転送方向を[片方向]、[双方向]指定により制御ができること。	オンライン処理	新規要件	
				転送ファイル指定	Webブラウザより転送するファイルの指定取得ができること。	オンライン処理	新規要件	
				プロトコル	セキュアなプロトコルでファイルを転送ができること。	オンライン処理	新規要件	
				メール転送(外部環境から内部環境宛て)	SMTPの通信プロトコルによるメールの転送ができること。外部環境から内部環境へのメール転送はSMTPの通信プロトコルを使用し、かつ添付ファイルの削除、テキスト化、リンクの無効化等のメール無害化の処理を行うこと。また、外部からメールを受信する際は原本メールを外部メールに、無害化処理済みメールを内部メールに配送すること。	オンライン処理	新規要件	
				メール転送(内部環境から外部環境宛て)	内部環境から外部環境へのメール転送はSMTPの通信プロトコルによりメール転送できること。			
				承認	転送するファイルの内容について、第三者が査閲(承認)を行い転送要否を判断できること。	オンライン処理	新規要件	
				ウィルスチェック	ファイル転送時に自動的にウィルスチェックを可能とする機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				アクセス制御	端末セグメントごとに送受信のルータを制限することが可能となる機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				アクセス権限設定	ファイルの受け渡し時にはユーザごとのアクセス権限設定が可能なこと。			
				ファイル自動削除	データの保存期間をポリシーで一括定義し、古いデータを自動的に削除する機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
		運用管理						
				転送条件管理	ファイル名中の単語、拡張子、ユーザID等にて転送を禁止するための条件を管理できること。	オンライン処理	新規要件	
				転送ログ管理	稼動状態やファイル送受信ログの参照ができること。			
				ユーザー認証	ユーザー認証は「認証アクセス基盤サービス」との連携が可能なこと。			
				履歴管理	ファイル転送時の履歴にはユーザIDが残ること。	オンライン処理	新規要件	
	リモートアクセスサービス	<b>仮想デスクトップ</b>						
		基本要件						
				前提機能	仮想デスクトップ環境を構築・管理可能な機能を有すること。	オンライン処理	新規要件	
				利用端末	仮想デスクトップは本省で利用するシンクライアント端末及び、職員の個人端末(BYOD)上に仮想デスクトップソフトをインストールした端末からの利用ができること。	オンライン処理	新規要件	
				次期省内LAN機能アクセス	当該仮想デスクトップから次期省内LANの内部環境のサービスを利用できること。	オンライン処理	新規要件	
				インターネットアクセス	当該仮想デスクトップからのインターネットアクセスを不可とすること。インターネット接続する場合は仮想ブラウザサービスを利用すること。	オンライン処理	新規要件	
				リモートアクセス	省外から、統合NWで用意しているインターネットVPNサービス経由での仮想デスクトップへのアクセスが可能なこと。	オンライン処理	新規要件	
				デバイス接続	本省内シンクライアント端末において利用するUSB機器、DVDドライブ等の外部媒体、音声端子を、仮想デスクトップで利用できること。	オンライン処理	新規要件	
				映像出力	会議室等に用意する大画面ディスプレイに対し、映像出力ができること。	オンライン処理	新規要件	
				画面転送プロトコル	ICA、RDP、PCoIP等の低帯域で利用可能な画面転送プロトコルを利用すること。	オンライン処理	新規要件	

システム	サービス	機能分類	機能ID	機能名	機能概要	処理方式	現状の機能との差異	補足
		ソフトウェア要件						
				オペレーティングシステム	仮想デスクトップのOSはWindows10または同等以上の機能を有するものを導入できること。	オンライン処理	新規要件	
				標準ソフトウェア利用	現行システムの端末で予め導入しているソフトウェアを、仮想デスクトップに導入可能なこと。	オンライン処理	新規要件	
				個別ソフトウェア利用	現行システムで各ユーザが個別に導入しているソフトウェア(閲覧資料を参照すること。)を、職員の個別申請の上で仮想デスクトップに導入可能な構成(フルクローン方式)で提案すること。ただし、ソフトウェアの導入が難しい場合はPJMOと協議の上で代替方法等を検討すること。	オンライン処理	新規要件	個別ソフトウェアの一覧は閲覧資料参照のこと
		運用管理						
				操作制限	仮想デスクトップ環境のシステム領域に対する、利用者の操作制限ができること。	オンライン処理	新規要件	
				拡張性	ハードウェア等の増強により、仮想デスクトップの増加が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				利用期間管理	テレワーク端末によるテレワークの利用は、利用希望者からの申請に基づくものとし、期間限定で利用を認めること。その際、当該申請に基づくテレワーク環境の設定、必要機器等の貸出、利用期間終了後の設定解除、機器回収等の作業は、受注者が運用の一環として実施すること。また、利用期間の終了後は自動的に当該サービスの利用が不可能になること。	オンライン処理	新規要件	
		簡易リモートアクセス						
		基本機能						
				利用対象機能	省外にある職員の保有するモバイルデバイス(PC、タブレット、スマートフォン等)から、次期省内LANの内部環境用の「電子メール」、「予定表」等の共働支援基本サービス等を利用できる機能を提供すること。	オンライン処理	新規要件	
				リモートアクセス方法	パッケージ製品として「簡易リモートアクセス」の機能要件を満たすこと。または仮想デスクトップサービス及び統合NWのインターネットVPNサービスを利用して「簡易リモートアクセス」の機能要件を満たすこと。	オンライン処理	新規要件	
		セキュリティ対策						
				専用ブラウザ	利用端末にインストールした専用ブラウザ又は専用アプリケーションからセキュアに接続可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				情報・データ管理	利用端末に情報・データを保管しない形で当該サービスを利用可能とすること。また、専用ブラウザ上において、以下操作を禁止できること。 ・コピー&ペースト防止 ・ファイル(メール添付、ポータルサイト内、ファイルサーバー内)の端末内への保存、持ち出し防止	オンライン処理	新規要件	
				暗号化	次期省内LANと利用端末との間の通信を暗号化し、セキュアな接続が可能であること。	オンライン処理	新規要件	
				認証	許可された職員のみが利用できるよう、次期省内LANのID及びパスワードの認証機能を利用した認証ができること。	オンライン処理	新規要件	
				ローカルワイプ	端末のロック解除にシステム管理者が設定した回数以上失敗すると、アクセス権限を抹消(アクセスに必要な設定情報を消去)する機能またはリモートからのアクセス権限を抹消する機能を提供すること。	オンライン処理	新規要件	
		運用管理						
				利用期間管理	当該サービスの利用は、利用希望者からの申請に基づくものとし、期間限定で利用を認めること。その際、当該申請に基づく環境の設定、必要機器等の貸出、利用期間終了後の設定解除、機器回収等の作業は、受注者が運用の一環として実施すること。また、利用期間の終了後は自動的に当該サービスの利用が不可能になること。	オンライン処理	新規要件	



(参考)業務処理系サービス移行対象資産一覧

システム名	機能名	記述言語	プログラム数	ステップ数	備考
会計予算事務処理サービス	示達額依頼表作成機能	Java	7	4,800	
	支払計画予定総表作成機能		7	5,600	
	報告状況表示機能		1	2,200	
	帳票出力機能		7	9,300	
	A・B表入力機能		3	1,900	
	各部局別表作成状況確認機能		3	1,600	
	予算現額台帳入力		3	2,600	
	マスタメンテナンス		6	2,200	
地方厚生局業務処理サービス	受付対象申請・届出一覧	Java、VB	2,712	150,000	
	審査対象申請・届出一覧				
	通知対象申請・届出一覧				
	取り下げ対象申請・届出一覧				
	申請・届出情報詳細				
	客体機能一覧				
	客体情報詳細				
	監査・監視対象一覧				
	監査・監視対象詳細				
	一覧				
	申請・届出情報				
	事業所情報				
	原本ファイル				
	客体監査情報				
	その他				